

人文会ニュース

1999. 6

「ふところの深い町民の想い」の図書館	岸裕司	1
一五分で読む仏教の歴史	正木晃	3
人文会ミニ研修旅行特集		
「本店の増床」から学んだこと、教えられたこと	精文館書店 尾崎哲三	10
人文会研修旅行報告.....	弘報委員会 堂本誠二	13
「CD-ROM 版人文書基本図書検索システム」 書目改訂版のお知らせ		17
人文会設立30年特集		
会員社自社紹介		18

ミネルヴァ書房

② 家族

若尾祐司編著／芝 紘子他著
歴史的プロセスに規定される労働と家族の多様な姿を把握する。研究者入門者必読の書。
380頁／三八〇〇円

① 移民

十九世紀後半以降の移民現象を送出国・受容国の双方から研究。「映画」なドキュラムも掲載。
368頁／三六〇〇円

●監修／望田幸男・村岡健次……………A5判／上製
シリーズ 近代ヨーロッパの探究
各巻にひとつの具体的テーマを設定し、「比較と連関」の視点から近代ヨーロッパを再考する。

山田史郎他著

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL 075-581-0296 FAX 075-581-0589 (税別)

法政大学出版局

(表示価格は税別)

日本煉瓦史の研究

水野信太郎

世界各地の煉瓦及び煉瓦造建築の歴史・文化が、国史的に脈づける。二〇〇〇円

聖ブランダン航海譚

藤代幸一著 往時のベストセラーに中世民衆の思想と文化を読み取る。1800円

バベルの後に

G.スタイナー著 翻訳や解釈の概念を明らかにし、試み。G.スタイナー著 亀山健吉訳／5000円

聖なる伝承をめぐって

井本英一著 聖・俗の普遍的な形を浮彫にする。2900円

羨望の炎

R.ジラール著 模倣・欲望・暴力等その本質を解明。小林田口訳／6600円

102-0073 千代田区九段北3-2 TEL.5214-5540



未来社

表示価格は税別

写真でつづる 上州の民俗

都丸十九一著 戦前より郷土群馬を記録しつづけた民俗研究者の写真344枚と文 ●3800円

1848年 ウィーンのマルクス

シュタイナー著／増谷英樹訳 革命権力の基盤となった労働者運動を分析。●2500円

[生誕100年記念出版]

プレヒト戯曲全集

ベルトルト・プレヒト著／岩淵達治訳 [全8巻] 既刊1・2巻 各3800円 3・4巻 各4500円 (隔月刊)。

行動する会記録編集委員会編 ●二八〇〇円
行動する女たちが拓いた道 (メキシコからニューヨークへ) 性差別社会の変革を目指して闘った、熱い思いの女たちによる追真のドキュメント

〒112-0002 文京区小石川3-7-2 (公)03)3814-5521

翻訳権の戦後史

宮田昇 米軍占領下の超法規時代から始まった混乱の半世紀。現場での経験と資料から掘り起こした初めての通史。●2000円

ナマコ 鶴見良行著作集

奇妙な生物ナマコの視座から見えてくるアジアと日本の多様な交通の記憶。傑作「ナマコの眼」と関連エッセイ。●5000円

本という不思議

長田弘 蔵書の楽しみからオーウェルまで、本という名の友人からもらった豊かから贈物について。詩人の記憶帖。●1000円

レーモン・アロン回想録

1 政治の勝惑 コンテラックやサルトルとの交流から「知識人の阿片」の出版まで、フランス知識人の20世紀。全一冊。三保元訳 ●6000円

東京文京本郷 5丁目32-2

みすず書房 (税別)

「ふところの深い町民の想い」の図書館

岸 裕 司

先日、学校と地域との交流をテーマにした講演をたのまれ、山形県遊佐町にいきました。東京から飛行機で四十分ほどの庄内空港から会場の遊佐町中央公民館へ向かう車窓の風景は、小雪まじりの刈り取り後の田んぼが延々とつづき、さすがに「おいしいお米の採れどころだな」と感じました。

中央公民館の隣には、人口約一万九千人の町ながら六万冊もの蔵書スペースを確保したこの町でただ一つの町立図書館があります。平屋建ての木づくりが、暖かさをももたしている円形のステキな図書館です。この図書館を「遊佐自然文化学校」という海拔二二三六メートルの鳥海山を背景に、あふれるほどの自然と遊ぶことを目的にした町独特の文化学校の学長を兼ねる教育委員長の高橋石雄さんが案内してくれました。そこには「シェークスピア・コーナー」があり、原書から各種の邦訳書が揃えられていました。私は思わず「すごいですねー！失礼ですがこの原書をお読みになる方はいるのですか？」と、高橋さんにたずねてしまいました。すると高橋さんは、「町内に読める方は二人しかいません」と、こともなげにおっしゃるのです。そしてさらに、こうつけ加えられました。「原書は読むことのみを目的に置いてあるわけではありません。こんな町でも子どもたちに、遠く外国の風土や本物の作品に触れてもらいたいのです」とのことでした。私は「とてもふところの深い町民の想い」を感じて、その後の講演の楽しさを想うのでした。

私の演題は、私の住む千葉県習志野市の秋津小学校を基地にして、五十人以上もの出入りするお父さんたちを主力にして余裕教室を日曜大工で図書室に改造したり、お母さんボランティアが学校へ出前しての「学校おはなし会」など、学校と地域の方々が溶け合うまでに多彩に交流する〈秋津における学社融合教育の実践〉です。町の教育関係者が一堂に会して熱心に、そして交流する私の具体的なイベントの話しを楽しそうに聞いてくれました。秋津では、クラブ活動に地域の方が四十人以上も参加して子どもと楽しく交流しています。将棋クラブに参加するある退職後のお年よりは、「知り合った子どもたちが家にまで来るようになりました」と、学校を介して地域とつながった喜びを話しています。聞かれない「学社融合教育」とは、「地域の人が学校に入ることによって学校教育が充実し、地域の社会人には子どもたちとの楽しい交流や学校施設を使いながら社会教育にもなるという」ことを、同時に果たすことができる新しい生涯学習の概念と実践がセットで行なわれる」ものです。秋津の融合教育史が、九七年度の読売教育賞最優秀賞を受賞したことから今、全国的に注目されはじめました。そんなことから私は三月に『学校を基地に（お父さんの）まちづくりー元気コミュニティ！秋津』（太郎次郎社・本体千八百円）と題する本を出しました。気楽に寝ころがりながら読める、学校と地域との二十一世紀のあり方が楽しく展望できる本です。ぜひお読みいただきたいとお願いたします。

きし ゆうじ
（習志野市「図書館に
いて勉強する会」会長・
秋津コミュニティ会長）
一九九九・三・二三脱稿

一五分で読む仏教の歴史

正木 晃

二五〇〇年に及ぶ仏教の歴史をわずか十数頁にまとめることは至難の業である。そこで、ここではいくつかのキーワードをもうけ、インドと日本の仏教を中心に、仏教の歴史の全体像が概観できるように、そのエッセンスのみを紹介していきたいと思う。

古代インド インドの歴史は古い。紀元前三〇〇〇〜二〇〇〇年頃には、すでにインダス文明が栄えていた。紀元前一五〇〇年頃、北西の方からアーリヤ人が侵入してきて定着した。この人々が、いわゆるインド人の直接の祖先である。彼らはギリシア人やゲルマン人と同じ祖先をもち、同じ系統の言語を話し、同じような思考方法をもっていた。

日本人に比べると、彼らの考え方は論理的で緻密だ。つまり理屈っぽく、しかも粘り強い。

アーリヤ人は数多くの神々を崇め、その恩恵を期待した。神々を祭る儀式で、儀式を取り仕切る祭司（バラモン僧）が用いる讃歌や規則などを集めた書物を「ヴェーダ」という。紀元前七・八世紀頃になると、神々を崇めて恩恵を期待す

るだけでは満足できず、宇宙の起源は？、人間とは何か？などを哲学的に考える人々が現れた。こうした考察をまとめた書物が「ウパニシャッド」だ。現在に至るまでインドの宗教や思想では、「ヴェーダ」と「ウパニシャッド」の内容を絶対の真理とみなす立場が正統派であり、そうでない立場は非正統派とされてきた。私たちが学ぼうとしている仏教は、非正統派の代表である。

↑古代インド思想を知る一冊↓中村元『インド思想史』岩波全書

ブッダの時代 紀元前五・六世紀頃になると東西交流が盛んとなり、インド各地で商工業が発達し、都市が形成された。そんな時代を背景に、「ヴェーダ」や「ウパニシャッド」にとらわれず、バラモン階級の権威を否定して、自由な発想をする人々が登場してきた。

彼らはそれぞれ独自の説を展開し、互いに意見を戦わせ、弟子を指導した。ブッダ（仏陀）もその中の一人だった。ブッダ以外に六人の代表的な思想家がいたとされ、仏典では「六師外道（六人の道を誤った人）」と呼んでいる。絶対的

な禁欲と不殺生を主張したジャイナ教の開祖マハーヴィラ（ジナ）も、「六師外道」の一人に数え上げられている。

不思議なことに、この時代は世界各地で、後世に大きな影響をあたえた偉大な精神的指導者が続々と現れた。中国の孔子（儒教）や老子（道教）、ギリシアのソクラテスやプラトンやアリストテレス、そしてやや遅れてイエス（キリスト教）など、私たちが知っている宗教や哲学の大半が、この時代に誕生したのである。精神革命の時代と呼ぶ学者もいる。

ブッダ ブッダは「真理を得た人」を意味する尊称で、本名はゴータマ・シッダールタ。小さな王国の王子（武士階層）として、ネパール南部に生まれた。釈迦という呼び方は、シヤカ族の出身だったからだ。釈迦牟尼⇨シヤーキヤ・ムニ（シヤカ族の尊者）、縮めて釈尊ともいう。紀元前六二四年から四六〇年頃の間に生まれ、八〇歳で没したと伝わる。シッダールタは生まれつき感受性が鋭く、少年の頃から人間（あるいは全生命体）が決して避けられない「生老病死」について、深く考えるところがあった。一六歳のとき結婚し息子も生まれたが、「生老病死」の問題は彼の心を離れなかった。ついに二九歳のとき、周囲の猛反対を押し切り、妻子を捨て、王国の後継者という地位も捨て、出家した。

以来、七年間（一説には六年間）、最初は有名な師に入門し、次いで林や山の中で孤独な苦行をつづけた。宗教的な才能に恵まれたシッダールタは、短期間でかなり高い境地

を得たが、それが完全な悟りの境地とは思えなかった。山中の修行に見切りを付けた彼は山を下り、ナイランジャナー川（尼連禪河）のほとりの菩提樹の下で瞑想に入った。

悟り 瞑想は二日間つづいた。その最後の夜、シッダールタは神秘体験の中で究極の真理を得た。七年間の厳しい修行は実をむすび、完全な悟りの境地に達して、つまり解脱して、ブッダとなった。解脱の直後、ブッダは真理は非常に難解なため他者には伝えられないと考えたが、神々の説得もあって思い直し、説法を開始した。仏教の誕生である。以後、八〇歳で没するまで、ガンジス川の中流域を旅しながら、ブッダは教えを広めつづけた。

ブッダの悟りの内容については、さまざまな意見がある。一般的には、すべては原因があって結果があるという「縁起」を発見し、「四諦（①この世は苦である、②苦の原因は欲望にある、③欲望を滅すれば解脱できる、④解脱するには「八正道」を実践すればいい、という四つの真理）」と「八正道（解脱に至るために必要な八つの聖なる方法）」を弟子たちに説いたといわれる。また仏教修行には、まず基本として、「戒（仏教者として守るべき規則）・定（心身を静める瞑想法⇨ヨーガ⇨禅定）・慧（教えを理解する智恵、論理的な思考から生まれる智恵、実践から得られる智恵）」の三つが必要であるとも説いた。

さらにブッダは旧来の身分制度を否定し、真理へ道は万人に開かれていると説いた。こうした教えは深遠なことはもちろん、当時としては極めて斬新でもあり、都市に住み

商工業に従事する知的水準の高い人々を中心に、仏教は支持者の数を次第に増やしていった。

↑ブッダの生涯や思想を知る一冊↓中村元『ブッダ入門』春秋社

部派仏教（アビダルマ仏教・小乗仏教）ブッダ没後、その教えは弟子たちに受け継がれた。当初は口伝えだった教えも、記憶違いや誤解を防ぐために、文字で書き記され、仏典となった。やがて彼らは僧院の中でブッダの教えを忠実に守り、戒律（規則）どおりの厳しい修行と禁欲の出家生活を送りながら、ブッダの教えの哲学的な分析に全力を注いだ。

この分析を重んじる仏教をアビダルマ仏教といい、見解の異なる複数の派閥があったので、部派仏教ともいう。現在、スリランカ、ミャンマー、タイ、カンボジアなどに見られる仏教（テーラヴァーダー上座仏教）は、このタイプの末裔にあたる。のちに大乘仏教徒が、アビダルマ仏教の難点や保守性を非難して「小乗仏教」、つまり「解脱への」ちっぽけな乗物」と呼んだが、それはあくまで大乘仏教側の一方的な言い方にすぎない。

↑部派仏教とアビダルマ思想を知る一冊↓桜部健・上山春平『仏教思想？存在の分析（アビダルマ）』角川書店

大乘仏教 紀元一世紀頃、アビダルマ仏教は僧院に安住して難しい哲学的論議に明け暮れ、大衆の救済を忘れていた。そうした傾向を批判して登場したのが大乘仏教である。大乘仏教では、慈悲の心をもって、自分の解脱よりも他者の

救済を優先する人間像を理想とし、菩薩と呼んだ。またブッダ（釈迦）を、人間を越えた超越的存在、つまり絶対神に等しいとみなし、さらに阿弥陀・薬師・弥勒などを、如来＝最高の仏として崇めるようになった。

大乘仏教は自らの思想を表現するために、般若経・華嚴経・法華経・浄土系経典をはじめ、膨大な数の経典を生み出した。理論的な研究も盛んにおこなわれた。とくに「空」という概念が重要視され、その説明をめぐる、龍樹（ナーガールジュナ）を祖とする中観派と、無著（アサンガ）・世親（ヴァスバンドウ）を祖とする唯識派が、論争を展開した。

日本、中国、韓国、チベット、ベトナムなどの仏教は、この大乘仏教に属す。

↑大乘仏教を知る一冊↓平川彰・望月良晃『大乘仏教』春秋社

密教 五・六世紀頃から商工業が不振になり都市が衰えるにつれ、都市型宗教である仏教は、農村を支持基盤とするヒンドゥー教に押されがちになった。この状況を打開するため、従来の仏教（顕教）が批判してきた儀礼や集団的な陶酔などの要素を取り込み、かつそれらの要素を大乘仏教の考え方に沿って意味づけシステム化する動きが現れた。

その結果、誕生した神秘的な傾向の強い仏教が密教である。密教は心身に関する理論やマンダラを用いる修行法などを開発し、僧院内で顕教と併存しつつ、インドの後期大乘仏教になった。

↑密教を知る一冊↓勝又俊教『密教入門』春秋社

インド仏教の滅亡 しかしヒンドゥー教の優位はくつがえらなかつた。保守化したインド社会は、もはや仏教を必要としなくなっていたのである。一三世紀の初頭、最後の拠点だった東インドの僧院がイスラム軍の攻撃で破壊され、インド仏教の歴史は幕を閉じた。以後、仏教は、仏教を必要とするアジア各地で、それぞれ独自の展開を遂げることになる。

中国仏教 中国に最初に仏教が伝えられたのは紀元前二年とされる。もともと中国には儒教や道教という巨大な精神文明が存在した。外来の宗教である仏教は、儒教や道教とときには対立し、ときには融合しながら、中国仏教という独自の宗教思想を形成していった。

中国仏教の全盛期は隋・唐から宋の時代、つまり六世紀から一三世紀頃である。天台宗の智顛、華嚴宗の法蔵、密教の不空、法相宗の祖で大翻訳家の玄奘など、偉大な人材が次々に現れ、インドの大乗仏教を、中国の精神風土に合致するかたちに再構築したのだ。

なかでも盛んだったのは浄土教と禅宗である。末法思想を背景に、極楽浄土への往生を願って念仏を唱える浄土教は、隋・唐時代に道綽や善導により大成された。ヨーガ（禪定）はインドでは瞑想修行の基本だったが、中国では悟りを直感的に得る宗派として独立し、禅宗となった。禅宗の大成者は唐時代の慧能とされる。禅宗は儒教と道教の思想や方法論と融合し、中国人の感性に最もあった仏教とし

て、宋以降は中国仏教の代名詞となった。

↑中国仏教を知る一冊↓鎌田茂雄『中国仏教史』岩波全書

チベット仏教 七世紀に伝来した仏教は、固有信仰のボン教と、対立と融合をくり返しながら定着した。初期はチベット王国の保護下にあったが、一一世紀以降は各地の有力氏族と結びついたりしながら、長らく社会の指導的な役割を果たしてきた。一五世紀初頭までにニンマ派・カギュー派・サキャ派・ゲルク派の四大宗派が成立。まずサキャ派が、次いでゲルク派がモンゴル布教に成功し、その支援を受けた。一七世紀にはゲルク派のトップであるダライラマが全チベットを政教両面で統治する制度が確立し、一九五九年まで続いた。

チベット仏教は、インドの後期大乗仏教を最も忠実に受け継ぎ、その理論と修行法は極めて緻密かつ実践的である。またチベット語に翻訳された經典と論書は膨大で、しかも正確なことは定評がある。一二世紀頃までは在俗の行者も活躍したが、やがて僧院に居住する出家者が活動の中心を占めるようになった。顕教と密教をともに学ぶのが基本だが、宗派により比重は異なる。チベット仏教は一四・一五世紀に頂点に達し、プトゥンとツォンカパが現れて、顕教と密教を理論と実践の両面で統合する壮大なシステムを構築した。

↑チベット仏教を知る一冊↓田中公明『チベット密教』春秋社

仏教伝来 六世紀の中頃、朝鮮半島を経由して、日本の支配階層の人々に初めて仏教が伝えられた。それは、インド仏教そのままではなく、中国的な変容を遂げた大乘仏教だった。

当時の日本人は仏教の深い思想を理解したわけではない。仏教を受容した人々は、仏を靈驗あらたかな「蕃神（外国の神）」として崇めたのである。そのため「国神（日本の神）」を崇める人々との間に、厳しい対立が生じた。さらにその対立が有力豪族間の権力闘争とからんだ結果、ついに蘇我氏を中核とする崇仏派と物部氏を中核とする排仏派との戦闘に発展した。戦いは崇仏派の勝利に終わり、以後、仏教は、宗教のみならず、政治や文化の分野でも、古代日本を導く指針となった。

飛鳥・白鳳時代 六世紀後半から八世紀初頭、大和盆地（現在の奈良県）に法隆寺をはじめ、寺院が次々に建立され、日本最初の仏教文化が開花した。仏教は大陸の最新文化の象徴であり、建築・工芸・医学・文学などの知識や技術が仏教とともに輸入され、中国から帰国した留学僧は、最高の知的エリートとして、各界を指導する立場について。また日本で初めて仏教の深い理解に達した可能性のある人物として、聖徳太子の名が挙げられる。

奈良仏教 七〇一年、奈良に平城京が建設され、仏教を基軸とする天平文化が開花した。とくに聖武天皇は華嚴経が

説く「共栄」の考え方を国家建設の基本にすえ、全国各地に国分寺を、平城京に東大寺を建立し、その本尊として巨大な盧舎那仏を造立した。九州の八幡神は東大寺の建立に協力し、神と仏の関係が新たな展開を示しはじめた。平城京には大規模な官立寺院がいくつも建立され、そこでは国家に認定された僧侶たちが仏教の学問的研究にいそしんでいた。合計して六つの宗派があったので、南都（奈良）六宗と呼ぶ。

国家主導の仏教とは別に、民間にも仏教が広まっていた。その指導者は私度僧（私的に出家した僧）が多く、行基のように、国家が無視できないほど民衆に支持される者も現れた。民間レベルでも仏教は日本在来の宗教（原始神道）と交渉を深め、両者の融合から山岳仏教（修験道）が芽吹いた。以後、仏教は都市と山岳の、二つの場に展開していく。奈良時代の末期、道鏡のように、僧侶が政治に介入し混乱する事態が生じた。その反省から桓武天皇は仏教と距離を置く政策をすすめ、仏教が強い平城京からの遷都を実現した。

最澄と空海 平安遷都（七九四年）をきっかけに最澄と空海が登場し、日本仏教は新たな段階に達した。彼らは若い頃、自然の中で修行したのち中国に留学するという体験を共有し、最新最高の中国仏教を、日本の実状にあわせて変容させつつ導入する独創的な作業を試みた。その方策がたとえば、神と仏の関係を調和させる「神仏習合」であり、仏教

よって国家を守護する「鎮護国家」だった。日本仏教の進む方向を決定した二大巨人といってもいい。

最澄は法華信仰を中核とする天台宗を開き、比叡山を拠点に精力的に活動を繰り広げた。後継者の円仁・円珍は時代の要請にこたえて密教を導入し、さらには浄土教をも飲み込んだ。その結果、比叡山は日本仏教にとって、総合仏教大学の役割を果たすことになる。

空海は最澄以上に在来の民間宗教的な環境から出発し、中国から導入した密教の日本化に成功した。東寺（京都）と高野山を拠点に真言宗を立宗。マンダラの理論を駆使した壮大な宗教体系の構築と、たぐい稀な靈力の行使により、密教を日本宗教界に君臨させた。

修験者（山伏）・聖・行者 古代から中世を経て近世に至るまで、民衆仏教の最前線を支えたのは、無名の仏教者たちだった。仏教と神道が融合した山岳仏教を担った修験者（山伏）、浄土信仰を広めた念仏聖、法華信仰を広めた法華経行者などの人々こそ、病氣治療や死者葬送といった民衆の切実な願いをかなえてくれる重要な存在だったのである。

末法思想と浄土教 平安中期以降、社会不安の増大とともに、最悪の時代の到来を説く末法思想が流行し、極楽浄土への往生を願って阿弥陀如来を信仰する浄土教が一世を風靡した。源信は『往生要集』を書いて浄土教の方向を決定づけ、後世に多大の影響をあたえた。

鎌倉新仏教 末法思想の影響は、貴族層にとどまらず、武士（殺人を職とするため嫌われた）や民衆にまで及んだ。この動向の中から、武士や民衆の救済をめざす仏教が誕生した。その開祖（祖師）たちが鎌倉時代に活躍したので、鎌倉新仏教と総称する。彼らは、浄土教・法華信仰・禅宗という、性格の異なる三つの領域から出現したが、念仏・題目・座禅という、一つの宗教的行為の実践だけで救済は可能になると主張した点、および身分的には国家の保護を一切受けない僧侶だった点で、共通していた。

中世期、人々の信仰を最も多く集めた浄土教の流れからは、三人の開祖が現れた。浄土宗の開祖、法然は「南無阿弥陀仏」と唱える念仏のみで浄土に往生できると説いた。法然の弟子で浄土真宗の開祖、親鸞は法然の教えをよりいっそう徹底し、阿弥陀如来に帰依する以外の行為は全く必要ないとする絶対他力を唱えた。さらに時宗の開祖、一遍はたった一回念仏を唱えるだけでも浄土に往生できると説き、最後には著作活動すら放棄した。

日蓮宗の開祖、日蓮は法華経こそ最高の仏教と主張し、「南無妙法蓮華経」という題目を唱えれば、救済は約束されると説いた。強い現実志向と激烈な他宗派攻撃を特徴とする。

栄西と道元が中国から伝え、座禅による悟りと厳しい戒律を説く禅宗は、主に武士の間に広まった。臨済宗の開祖、栄西は密教と禅の権威であり、中国文化の紹介者でもあった。曹洞宗の開祖、道元はより純粹に禅を追求し、著作活

動にも心血を注いだ。

旧仏教の改革運動 鎌倉時代、既存の仏教（旧仏教）にも新たな展開があった。新義律宗の叡尊と弟子の忍性は、鎌倉新仏教にありがちな戒律軽視を批判し、国家の保護下から脱して自立した教団を率いて、民衆の救済を実践した。彼らの運動は具体的かつ組織的で、病人・被差別者・女性の救済において、世界的にも特筆されるほどの実績をあげた。

禅と日本文化 鎌倉末から室町時代、禅宗は全盛期を迎えた。禅は政権を握る上級武士層にとって不可欠の教養となり、また絵画や文学、茶道や華道など、日本文化の源泉ともなった。

戦乱期の仏教 室町後期、あらゆる秩序が崩壊する状況の中で、親鸞の血を引く蓮如は浄土真宗の組織化に成功し、本願寺を頂点とする強大な教団を築き上げた。日本史上、最大最強の宗教組織となった浄土真宗は一向宗とも呼ばれ、各地で自治を求めて一向一揆を起こした。戦国大名をしのぐ政治・軍事力を持ち、信長らの天下統一すら長らく阻止した。

江戸時代の宗教政策 戦乱を収拾した徳川政権は、仏教教団が再び政治力をもつことがないように、厳格な統制政策

を実施した。またキリスト教などの布教を禁じるために、寺と檀家の関係を特定する寺請制度を導入した。その結果、仏教教団は安定した経済力を得た反面、以前の活力を失った。しかし仏教が日本全土に普及したのは実は江戸時代ともいわれ、日本人の価値観や死生観が江戸時代の仏教によって形成された可能性は無視できない。

近代化と仏教 明治維新後、神仏分離が実施されると、鎌倉新仏教系を除く日本仏教の大半は衰退した。その中で、浄土真宗は清沢満之などの努力により近代化にかなり成功し、日本人の精神的な糧となることができた。また禅宗は知識人を中心に信奉者を集めただけでなく、鈴木大拙らによって欧米に輸出され、東洋精神の象徴として世界的な評価を得た。

↑日本仏教を知る一冊↓宮坂宥勝『日本仏教のあゆみ』大法輪閣

正木晃（まさき あきこ）

一九五三年生まれ 東京教育大学卒 筑波大学博士課程修了 宗教学専攻（日本・チベット密教） 白鳳女子短期大学助教授 神秘体験・圖像研究・宗教と精神医学の接点などが主な研究テーマ

*『密教の可能性』『空海の世界』『チベット仏教図像研究―ペンコルチュンデ仏塔』（共著）『チベット仏教の神秘―快樂の空・知恵の海』（共著）『知恵の言葉―サキャレクシュエの教え』（共著）

「本店の増床」から学んだこと、教えられたこと

精文館書店 尾崎 哲三

精文館書店本店は、浜松と名古屋の中間に位置する人口三六万人の地方都市、豊橋にあります。この地で当社は、豊橋駅前の本店を始め東三河地域を中心に、四四店舗をドミナント展開しています。本店は、豊橋駅前のデッキを下りた繁華街の入口にあります。現在の店舗は、一九八一年（昭和五六年）隣地の店舗から移転し、四フロアで六五〇坪（書籍四五〇坪、文具一〇〇坪）の、当時としては東海地方最大の総合書店としてオープンしました。駅前立地ということもあり、お客様は、主婦の方をはじめとして、通勤、通学のサラリーマン、OL、学生と、客層、年齢層とも幅広いのが、特長です。

それから一六年後の一九九七年七月オープンをめざし、本店の増床・リニューアルが、計画されました。その内容は、一二〇〇坪（書籍七〇〇坪、文具四〇〇坪、その他一〇〇坪）の店づくりです。それは当社では誰も経験したことのない大きさで、まさに初体験のメガストアづくりとなりました。

東三河の「地域一番店」「デスティネーション・ストア」

として、お客様の期待を裏切らない店とはどのような店なのか最大の課題でした。そのためには、まず店舗コンセプトを決定することから始まり、さらに現場段階の具体的課題としては、一階から四階までの書籍売場のフロア構成、部門構成をどのように配置し、それをレイアウト、ゾーニングし、最終的には単品の商品選択までおこなうことでした。その過程で出てきたのは、やはり「過去の経験」の延長線上にある蓄積された数字であり、部門構成であり、品揃えであるということです。その結果、これまでの主力（売上・商品量）商品群であった「雑誌」「文芸書」「文庫」「コミック」をさらに充実すべき強化商品群とし、スペース、商品量を増やす方向で取り組みがおこなわれました。その時点では、専門書群の人文書では二割、理工書では三割の商品の増量にとどまっていました。

そうしてオープンした店の答えは、開店景気も過ぎ一週間を経過したころから日々数字にはっきりと現れてきました。それは、主力商品群として期待していた部門での売上効果が、出てこないということです。「今までの店がただ

大きくなっただけ」というお客様の声がまさにきびしい現実でした。「過去の経験」の延長線上には、お客様の求めるものはなかったのです。そこで、開店から二週間経過した時点で、再度「お客様が、何を求めているのか?」「自分の売場の商品は本当にこれで良いのか?」「どんな売場を作ったら良いのか?」という小売業の基本的な部分に立ち返って、手直しの課題をスタートさせました。対策項目をあげ、スケジューリング化し、日夜手直しの作業が、続きます。「仮説」を立て、そして「検証」することの繰り返しです。対策項目は、数十項目にのびりました。

そして、総仕上げとして、ちょうど一年前の昨年(の)二月、大幅な改装を実施しました。その主眼は、「専門書の拡充」です。二階の「人文・社会科学書」「法律・経済書」「芸術書」、三階の「理工学書」「コンピュータ書」「医学・看護学書」の専門書群の商品の充実です。

わたしたちは、つねづね社長より「小売業にとって一番

大切なことは品揃えだ」と教えられ、言われ続けています。「お客様は何を求めているのか?」「この商品は本当に必要なものなのか?」「本来あるべき商品が揃っているのか?」を日々自問し、徹底して商品にこだわりを持ち続けることなのです。さらに、「どうしたらお客様にもっと満足していただけるか」を考え抜くことが出来るか。それをいかに早く実行に移せるか。そして結果を分析して、…もし間違っていたら直し、もう一度実行できるかということの大切さなのです。

品揃えにこだわり続けるという原点に立って、担当者は、拡充すべき専門書群の商品選択にあたりました。専門書出版社約二〇〇社の商品を一点一点検討し、客観的データを駆使しながらの選択が続きました。また、東京、大阪の大型書店のストア・コンパリゾンの実施。紀伊國屋書店新宿本店、三省堂書店神田本店を訪問し、専門書担当者の皆様に直接品揃えのポイントをご教授していただく機会も得ま

シモーヌ・ヴェーユ著作集

〈全5巻〉

■橋本一明編
渡辺一民編

⑤ 根をもつこと

(付)年譜・書誌

2500円

■山崎庸一郎訳 ロンドンの亡命先から自由フランスのために自らの意志によって完成した唯一の長篇論文。鋭い文明批評と明日の社会への提言にみちた永遠の覚書。

- ① 戦争と革命への省察 初期評論集 3200円
- ② ある文明の苦悶 後期評論集 3200円
- ③ 重力と恩寵/救われたヴェネチア 2500円
- ④ 神を待ちのぞむ/ある修道者への手紙 2000円

▶価格は税別

春秋社

東京都千代田区外神田2-18-6
☎3255-9611 振替00180-6-24861

した。こうした取り組みをへて、専門書拡充のための品揃えがおこなわれました。その結果、専門書の各部門は、商品量では一・五倍から一・七倍に、人文書は、約二倍の増冊となりました。もちろんこれでも十分とは言えません。改装後には、「仮説」と「検証」の手法により、さらに部門構成、商品の見直しを継続的におこなってきました。そして、現在でも、レイアウト、部門構成、分類、陳列、商品の充実について継続の課題を持ち続けています。

今回専門書の拡充にあたって、品揃えとともにポイントを置いたことに、「構成」「分類」があります。専門書特に人文書は、人間が歴史の過程で形成してきた「知の体系」「学問の体系」の成果の表現であり、また、「既成の体系」に対して、批評し続けている現在の表現の姿をあらわしています。その歴史的「流れ」と体系の「関連性」を棚の配列と棚の連続性の中で、一冊一冊の本をどのようにまとめあげていくかという問題です。そして、その方法が、お客様からみてわかりやすく、探しやすく、さらに次への広がりとしてステップを誘発するものとしてまとめあげられているかという点です。その点は、数多くの大型書店のストア・コンパリゾンから学ばせていただきましたが、最初の立ち上がりは、実際什器、スペースなどの制約のなかで、オーダーボックスな形での出発となったと考えています。

周辺を郊外型店舗に囲まれた本店が、どのような店づくり、品揃えによってお客様の支持をえられていくのかは、日々お客様の声を謙虚に聞き続けていくなかで、その答え

を見つけていきたいと考えます。また、書店の生命線である品揃えについては、担当者の経験を生かしながらも、過去の経験を否定するという姿勢を持ち続ける一方、他店に学び、自己修練と技術の向上に取り組んでいきたいと思えます。

今後いっそうお客様の声、版元の皆様の助言をいただき、担当者全員で理想の棚づくりをめざして頑張っていきます。皆様のご来店を心からお待ちいたしております。

人文会研修旅行報告

弘報委員会 堂本誠 二

二月十九日、二月二十日の二日間、人文会は静岡市と豊橋市の書店様と研修の機会を持たせていただきました。最初に個人的な事情から申せば、人文会研修旅行に参加するのは今回が初めてで、右も左もわからないままの研修旅行でした。経験も浅い私のような者が報告をするというのはお恥ずかしい限りですが、たまさか今回の訪問地がそのまま私自身の営業担当地区でもありますので、そうした私なりの視点も交えながら報告させていただきますと思います。

初日の午前中は、呉服町通りにある「静岡谷島屋」と「江崎書店」に伺いました。呉服町通りは静岡駅から少し離れたところに位置していますが、石畳で舗装された美しく開放感のある街路には様々な店舗が建ち並び、若い人が集まりそうな通りです。当日は好天に恵まれたこともあり、金曜日の午前中ながら買い物をする人の姿も目立ちました。官庁に近い通りなので、夕方ともなればビジネスマンでかなり賑わうのではないかと思われました。

静岡を代表する老舗の一つである「静岡谷島屋」はやはり専門書の充実には力を注いでおり、基本図書を中心に若

い人にもアピールする棚構成になっているようでした。開店直後の忙しい時間帯でしたが、ご厚意で急遽予定を変更して店長補佐の原川さんと人文書担当の生澤さんを交えて、研修の場を設けていただきました。

最近の新聞点数の多さ、返品問題にはかなり苦慮されているようで、とくに新聞の展示期間が短くなってしまふことを気にされているようでした。

同じ通りにある「江崎書店」は間口が広く、平台の多い店内は明るく目を惹きます。広い通路、低い棚は圧迫感もなくまた、ポップ等にも工夫を凝らされており、若い読者への配慮が見受けられました。人文書はいまの若い世代には難しいとはよく言われるところですが、版元の側としても潜在的な需要を掘り起こすさらなる努力が必要とされていると考えさせられます。

次に伺った「丸善新静岡センター店」は一年半程まえにオープンしたところですが、さすがに専門書の丸善であり、大药房を活かして医書、理系参考書はもちろん人文書の充実にも力を注がれていました。とくに哲学・思想の棚の

必読エッセイ

21世紀の日本人へ

全7巻／好評発売中！
四六判／各1050円

20世紀を開拓した7人による珠玉の日本人論を集成。21世紀を迎える日本人の心の手引きとなる、理想的かつハンデイなシリーズ。 呈内容見本

★瀬戸内寂聴氏・鶴見俊輔氏
河合肇雄氏・長田弘氏 推奨

夏目漱石

現代日本の開化／私の個人主義ほか 文豪の講演を収録。

石川啄木

硝子窓／食うべき詩ほか 天才啄木の潑刺とした魅力。

笠信太郎

もの見方についてより ジャーナリストの名著。

永井荷風

冬日の窓ほか 失われた日本と日本人を甦らせる名編。

坂口安吾

日本文化私観ほか 無頼派作家の卓抜な文明批評。

柳田国男

毎日の言葉／喜談日録 日本語への深い愛情が伝わる2編。

金子光晴

絶望の風土—日本ほか エロスと漂白の詩人の知恵。

晶文社



東京都千代田区外神田2-1-12
電話03(3255)4501 *定価は税込

分類は精緻で質、量ともに申し分なく、担当の方の熱意が伝わってくるようです。船木フロア長と人文書担当の荻野さんが交えて昼食をとりながらの研修でもつぎつぎと質問が提出されましたが、人文書の販売の難しさとともに、返品問題が取り上げられました。もう少しじっくりと販売したくても返品のことを考えると、自然、平台の期間が短くなり、新刊注文も控えがちになってしまおうとのことでした。「静岡丸善」に限らず、この種の問題にはどの書店も苦労されているようで、版元の側としても、新刊案内の工夫なども含め、人文書が販売しやすい環境づくりを常に心がけなければと思います。版元営業としてはつらいお話もありましたが、普段はあまり聞くことのない貴重なご意見を聞くことができ、勉強になりました。

静岡市内で最後に伺った「吉見書店」は七間町にあります。先の呉服町通りの近くでやはり人の集まりそうな場所です。看護系の専門書に強いというイメージがありますが、四階建てビルの二階にはバランスよく人文書の各分野が組

み込まれ、地元根ざした老舗の強さを感じます。さらに四階には特設催し場もありフェアなどに利用できるようになっていました。

静岡のような地方都市での人文書の販売を考える場合、大学があるかどうかということが一つの目安になるかと思いますが、静岡には静岡大学、県立大学・短大、その他私立の四大、短大が揃っており、大都市ほどではないにしてもそういった方面での潜在的な需要も期待できる気がします。今回訪問させていただいた静岡の四店はいずれも比較的狭い範囲に集中しており、それぞれ苦労もあるかと思いますが、静岡の読者のニーズに 대응べく私たち版元の側もいろいろな可能性を模索しながら、できる限り協力していきたいと思っておりますので、今後ますます人文書の販売にも力を入れていただきたいと思います。

スケジュールの都合上駆け足で静岡市内の書店を巡った後は、豊橋市に向かいました。人口三十六万、商圏六十万といわれる豊橋市の駅前にある「精文館書店本店」に伺い

ました。直営二十四、フランチャイズ二十一店舗を擁する東海地区を代表する書店ですが、昨年夏には増床、リニューアルによって売場面積はほぼ倍の千二百坪（文具四百坪含む）という同地区最大の書店となったところです。この思い切った増床に伴い専門書も随分と拡充され、人文書に関して言えば、約二倍に増えたとのことです。

夕刻の忙しい時間帯ではありませんでしたが、「精文館書店」のご厚意で、一同はかなりじっくりと棚構成などを見学させていただきました。人文社会の専門書は四階建てのうち、二階の全フロアを使って構成されているため、地方都市とは思えないその圧倒的な商品量には驚かされます。名古屋市内の大型店にも負けない品揃えと、棚へのこだわりには改めて脱帽しました。

各ジャンルには基本図書からより高度な専門書までがきちんと収められ、ジャンル小分類、著者分類の小見出しプレートが視界に飛び込んできます。探している本がある読者は迷うことなく容易に棚に辿り着くことができるでしょう。細かすぎるとも思えるその分類には担当者の奮闘のあとが見られ、版元営業としてもやりがいのある構成となっています。今回僭越ながら、私は福祉の棚のチェックをすることにいたしましたので、とくに福祉の棚を重点的に拝見させていただきましたが、こちらが改めて言及することのないほどに棚は整然と構成され、法令、資格もの、一般向け書籍などがバランスよく配置されていました。大都市の大型書店に勝るとも劣らない品揃えには、最近とくに

需要が高まってきた福祉の読者のニーズに十分応えられるものだと思います。むろん、棚へのこだわりは福祉棚だけでなく、人文社会の他の分野においても同様です。また、ゆったりとした店内には長椅子が設置され、じっくり探したい読者には嬉しい限りです。

店内を見学させていただいた後は、精文館書店のみならずと懇親会を設けさせていただきました。その席上、人文書担当の関さんからは、名古屋だけではなく、東京、大阪などの書店に赴いては店内の構成、棚づくりを研究されていると伺い、その熱意に感心するとともに自分の不勉強を反省させられました。地方都市だからと専門書を敬遠せず、逆に層を厚くすることで潜在的な需要を掘り起こそうという決意は私たちのような人文書の版元にとっても心強いものです。地方都市といえども、ただ東京などの大都市の情報ですくい取っていただければいいのではなく、他店の長所を貪欲に吸収し、単なるまねではないオリジナリティーのある書店づくりをこころがけていらっしやるように感じました。

二日目は、昨日に引き続き精文館書店のみならずと腰を据えての研修会となりました。木和田社長は遠く海外にも足を運び、バーンズ&ノールやタワー・ブックスなどの大型店がいわゆる地方都市や郊外で千坪、二千坪クラスの大規模店を出店し、苛烈な競争を繰り広げる様子をの当たりにされており、海外の事情に疎い私は、そうした報告に正直驚いたとともに、その視野の広さ、行動力に敬服いたしました。郊外型書店は都市部の書店に比べると専門書の販

誠信書房

隠された子どもへの叢知

北ドイツの治療教育施設での記録

川手鷹彦著

2350円

バルト海の近くの美しい森に囲まれた治療施設で障害児や非行の子ども達と、芸術教育・言語セラピーを施す著者との瑞々しい心のふれあい、学びあいの記録。

いのち 生命はその生涯を描く

重病の子どもが描く自由画の意味

バツハ／老松克博・角野善宏訳

5800円

死を免れない子どもたちが自らの身体や死をどう感じどう子感しているのか、彼らが描く膨大な絵から読み解く。鮮やかなカラー図版227枚と本文の2分冊。

東京都文京区大塚3-20-6

売は難しいという固定観念に縛られず、潜在的なニーズに応えていく柔軟な姿勢はここでも感じられました。

今回の訪問では、スケジュールの都合上、静岡市内の書店様とはじっくりとお話しさせていただく時間がなく、その点残念でしたが、普段の営業では見過ごしていたことも気づかせていただき短時間ではありましたが、私にとっては意義のある研修になりました。人文書の販売は簡単なものではないと思いますが、どの書店様も人文書の販促には熱心で版元の側もこれに応えるべく役に立つ情報を提供できるようにしたいものです。

豊橋の「精文館書店本店」においては専門書の拡充ぶりに改めて驚かされるとともに、既成概念にこだわらず、郊外型書店の新しいあり方を模索されている様子が印象的でした。私のような営業も基礎は固めながらも、しかし従来の常識にのみとらわれない柔軟な思考が要求されているのだと思います。

私の準備不足で、今回の報告にはいろいろと至らぬ点が

多々あり、果たして各地区の書店様の実状を伝えることができたかと不安ではありますが、私個人としては今回の研修を機会に、より書店様のお役に立てるよう努力を重ねることでもみなさまのご期待に添えるようにしたいと思います。最後になりましたが、各書店の皆さまには御多忙の中、貴重な御時間を割いて下さりまことにありがとうございます。また、私事で恐縮ですが、このような機会を与えて下さった人文会の皆さまにもこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。

『CD-ROM版人文書基本図書検索システム』

書目改訂版のお知らせ

人文会では昨年一〇月、人文会設立三〇周年記念事業として『人文書のすずめⅡ』の刊行とそれに収録されている「基本図書一覧」四四一七点を電子データ化したCD-ROMを作製いたしました。

お蔭様でどちらも面白くて役に立つと好評をいただいております。しかし、本のデータベースという性格上常に改訂を施すことが求められます。

そこで、『CD-ROM版人文書基本図書検索システム』をお持ちの方のために新刊、絶版、必備等の情報を増補した書誌データ改訂版を作製・提供することにいたしました。

今回の改訂も「思想・哲学、歴史、宗教、批評・評論、社会、心理、教育」の七分野について、書店の第一線で活躍されているベテランの棚ご担当者様にチェック作業を依頼しております。最新の情報を増補してますます使えるデータベースになると思います。

提供方法は改訂版書誌データが全点入ったフロッピーディスクとなります。それをあらかじめ「追加・変更・削除データ更新」がプログラムされている『人文書基本図書検索シ

ステム』のデータに上書きします。この方法ですと今後何度か改訂した場合も、最初のCD-ROMがあれば最新の改訂フロッピーディスクだけで最新の情報が得られます。今回の提供時期はCD-ROMを作製したちょうど一年後の今年九月を予定しています。

CD-ROMこんな使い方をされています（実例報告）。

●新規開店の書店様の人文書の棚作りに利用されることが一番多いようです。人文書を全く未経験のご担当者でも四一七アイテムのうち基本中の基本の必備図書マークのついた六七八点を発注することができます。

●版元別やジャンル別に検索して欠本調査。

●著者やタイトル、ジャンルで検索しフェアリストや発注書に。

その他様々にご利用いただいているようですが、すべてのアイテムにISBNがついて、すべての検索結果が版元ごとの発注書としてプリントアウトできるので、特に書店様の注文業務に大きなお役に立っています。

会員社自社紹介 — 二二世紀にむけて —

人文会が結成されたのは一九六八年で、昨年三〇周年を迎えました。

三〇年間の活動の歴史は、人文書のおかれた状況を色濃く反映しています。人文書の普及販売のためにジャンルの確立をはかった高度成長期。バブル経済下では図書館への普及、フェアの展開など積極的な普及政策。効率販売が指向されはじめた低成長期は、書店や関係者との情報交換や研修会、人文書のより一層の普及にむすびつけるための提案や環境整備を主眼とした販売マニュアルの作成等々。これまで様々な活動を行ってきましたが、基本方針は結成以来一貫して、人文書の普及販売とそのため学習ということでした。

人文書専門出版社の会として販売を組織的に展開できるメリットも大きく、書店はじめ関係者に高く評価され、確実な成果を上げてきました。しかし、バブル経済が破綻した現在は厳しい出版不況に直面しております。また、インターネット、デジタル技術の普及に代表されるように出版環境も大きな変化をみせている上に再販問題も不可避の課題といえましょう。

会員社は、結成時の一五社から現在は二三社になりました

た。稼働点数は約四万点、毎年の新刊は二千余点にのぼっています。人文・社会科学だけでなく、自然科学などの他分野にまで及ぶ会員各社の幅広い出版活動は専門書出版の中核をなすといっても過言ではありません。また、会員各社の図書目録を飾る多くのロングセラーは、二〇世紀の財産として必ずや二二世紀に継承されるものと確信しています。

先行きが不透明な現在こそこれまでの蓄積をフルに活かすこと、また、原点に立ち戻りさまざまな課題に対応することが最重要と会員各社は認識しています。結成三〇周年の節目にあたり、会員社の自社紹介をさせたいただくことにいたしました。二二世紀へのメッセージとして私どもの情熱と意志をお汲みとりいただければ幸甚です。また、同時にご案内いたしました各社のロングセラー一〇点は基本図書のかなかの基本図書であり会員社の顔です。是非お見知りおき下さい。

私どもの活動は書店・取次店はじめ関係各位のご理解とご協力に支えられております。ひきつづきご支援とご鞭撻を改めてお願い申し上げます。

株式会社 青木書店

一〇一〇〇五一

東京都千代田区神田神保町一六〇

電話 〇三―三二九―三三四一

FAX 〇三―三二九―二五八五

営業部

一七五―〇〇九二

東京都板橋区赤塚八一―二二―二二

電話 〇三―五九九七―四〇五一

FAX 〇三―五九六七―七六九一

小社は、一九四七年に創業して以来五二年、人文・社会科学の専門書を中心に出版活動を展開してまいりました。近年は、歴史書刊行に重点を置きながら、哲学・思想、社会学、環境問題、社会問題―家族・女性・医療・福祉―など幅広いテーマを取り上げ、意欲的な出版活動を行ってきております。

哲学・思想の分野では、シリーズ「現代批判の哲学」を昨年スタートいたしました（既刊八点）。〈混迷を深める現代の諸問題に真っ向からぶつかり、新しい道筋を見いだそうとする〉挑戦的な哲学・思想の書き下ろしシリ

ズです。

歴史の分野では、〈十五年戦争関連書〉を中心に、日本近現代史の本を多数刊行してまいりました。これをベースとしつつも、さらに加えて、原始から現代までテーマ性を重視した書き下ろしシリーズ「青木ライブラリー・日本の歴史」（既刊二点）の刊行や、近年ますます展開をとげる考古学の成果を取り入れ、〈斬新な日本列島の歴史〉を描きだす「日本史のなかの考古学」（既刊二点）の刊行も進めています。また五月には、シリーズ「地中海世界史」もスタートさせるなど、時代・分野ともに幅を広げ、新しい視点を打ち出す努力をいたしております。

社会学の分野でも、「現代社会学大系」（全一五巻）に続く企画として、「社会学の思想」（第一期一五冊、既刊一点）の刊行を開始いたしました。二〇世紀社会学のフロンティアを集成した〈新しい古典〉ともいえるシリーズです。

社会問題の領域では、『夫は定年 妻はストレス』『近代家族』を超える』をはじめ、ジェンダーの視点から家族・女性・労働を考える書籍の点数も増えてきています。

今後、時代に向き合い、そして新しい時代を拓いていくような、人文・社会科学書の刊行を継続していきたいと思っております。



『さくら・さくらんぼの障害児保育』 斎藤公子 A5判 2400円

『リハビリテーションを考える』 上田敏 46判 2500円

『発達診断と障害児教育』 白石正久他 46判 2400円

『ちびくろサンボとピノキオ』 杉尾敏明他 46判 2800円

『意識とはなにか』 坂野登 46判 2000円

『【新装版】哲学辞典』 森宏一編集 46判 5000円

『政治学の基礎知識』 田口富久治 46判 2000円

『百人一首の秘密』 林直道 46判 2000円

『十五年戦争小史（新版）』 江口圭一 46判 2800円

『国民国家を問う』 歴史学研究会編 46判 2800円

（価格はすべて本体価格です）

株式会社 大月書店

一三三〇〇三三

東京都文京区本郷二一―一九

電話 〇三―三八一三―四六五一

FAX 〇三―三八一三―四六五六

第二次大戦の戦火による硝煙がまだ残る一九四六年一月の創業ですから、以来、すでに半世紀以上を経ましたが、その間たゆむことなく、出版を通じて日本の民主的文化の発展に寄与することを社是としてきました。

これまでに刊行したものは、およそ二五〇〇点にのぼりますが、なかでも一六年の歳月をかけた『レーニン全集』(全四七巻)と三年を要した『マルクス・エンゲルス全集』(全五二巻)の刊行は、日本の出版史上においても特筆されるべき事業であったと自負しています。

このように、マルクス主義の古典的著作を系統的に翻訳出版することを第一の柱とするいっぽうで、小社は、経済学、政治学、哲学、歴史学、教育学などの諸分野での研究成果を

ひろく普及することをも第二の柱としてきました。こうした目的で刊行して高い評価を受けたものをいくつかあげれば、『見田石介・ヘーゲル大論理学研究』『科学全書』(全五〇巻)『資料日本現代史』『子ども達の発達と診断』などがあります。

さいわいこうして得られた小社への読者の皆さんの信頼をたよりに、一〇年ほど前から、それまでの読者の方々のご子弟にも良書を普及したいと願ひ、小学生・高校生に読んでもらえる本の企画にも力をそいできました。『ファミリー版世界と日本の歴史』『地球を旅する地理の本』『シリーズ子どもとつくろ』『性の絵本』『まんが日本の歴史』などは、そうした意気込みで世に問うたものです。昨年から今年にかけて出版した『障害を知る本』(全二巻)をふくめ、この分野で大勢の若い人びとから小社の本が歓迎されたことは大きな喜びでした。

ようやく創業半世紀を過ぎたばかりですが、次の半世紀の社史を、過ぎた半世紀以上に輝かしく飾るような書物を出しつづけようと社員一同努めています。本好きの皆さまのこれまで以上のご愛顧を願うところ大です。

- 『子どもの発達と診断』全5巻 田中昌人他 B5変形 各2800円
『見える学力、見えない学力』岸本裕史 A5判 1500円
『見田石介 ヘーゲル大論理学研究』全3巻 ヘーゲル論理学研究会編 A5判 各4854円
『写真集』子どもたちの昭和史 編集委員会編 A4変形 3010円
『死の沈黙―ドイツ強制収容所跡の写真集』ライナルツ(写真)他 A4変形 7537円
『ベトナム戦争の記録』編集委員会編 A4判 18000円
『ブリュッセル・さかさまの世界』カシュ・ヤーノシュ編 A5判 2204円
『ポストモダニズムの幻想』テリー・イーグルトン 46判 2600円
『性の絵本』全5巻 山本直英他編著 A4変形 各1400円
『CD-ROM版 マルクス=エンゲルス全集』全8枚 大月書店/経業社企画・制作 セット340000円(分売可)(価格はすべて本体価格です)



株式会社 御茶の水書房

東京都文京区本郷五―三〇―二〇

電話 〇三―五六八四―〇七五一

FAX 〇三―五六八四―〇七五三

小社は戦後まもない一九四八年に丸山眞男著『政治の世界』を刊行して以来、政治・経済学を中心に社会科学関係の学術書を刊行してまいりました。現在の出版分野は政治・経済をはじめとして哲学・思想・歴史・社会学・民俗学・農業経済と幅広く出版活動を行っております。

また、出版物の内容も「大審院最高裁判所入会判決集全一二巻」(川島武宣監修)といった資料集から、毎日出版文化賞を受賞し今も多くの人に読まれている『箸の文化史』(一色八郎著)までさまざまな出版物を刊行しております。

ソ連の崩壊により一九九一年に冷戦が終結したあと、現在の学問状況はマルクス主義がかつてのような有効性を失い、今はそれに代

わる学問体系が模索される過渡期にあり、出版の軸をどこにおくのか大変難しい時期かと思えます。小社は現実の社会経済問題に積極的に取り組む若い学者・研究者たちに出版の場を提供し、共に考え行動していく出版社でありたいと考えています。

小社刊行物の多くは学術書です。初版一〇〇部から二〇〇部の書籍を数年がかりで売るといふ内容ですので、棚の回転数や店の坪効率を追及されている現在の書店様には必ずしも歓迎されておりません。

また、本の間屋さんである取次店の人にも「書籍」を扱えば扱うほど赤字が増えるところばされる現状ではなかなか書籍の配本も納得の行くようには出来ません。このような状況の中で読者・研究者のみなさんに、「本」の存在をしらせるのは小出版社にとって大変難しいことです。

専門書の出版状況がますます厳しくなってきた現在のようですが、創業時の出版理念を堅持し、これからも学術書の出版をつづけて行きたいと考えております。読者のみなさまのより一層のご支援をお願い申し上げます。



- 『インターネット市民革命』 岡部一明 A5変形 2800円
 - 『国家理論』 B.ジェソップ 菊判 8200円
 - 『須恵村の女たち』 R.J.スミス他 A5判 3800円
 - 『生命系の経済学』 P.エキンズ A5判 3400円
 - 『世界大恐慌』 佐美光彦 菊判 12000円
 - 『町内会の研究』 岩崎信彦他編 A5判 6500円
 - 『哲学の脱構築』 R.ローティ A5判 4600円
 - 『箸の文化史』 一色八郎 菊判 3800円
 - 『バルトーク音楽論集』 B.バルトーク A5変形 4800円
 - 『綿と木綿の歴史』 武部善人 菊判 4500円
- (価格はすべて本体価格です)

株式会社 紀伊國屋書店

一五六―八六九一

東京都世田谷区桜丘五―三八一―

電話 〇三―三四三九九―〇二二八

FAX 〇三―三四三九九―三九五五

URL <http://www.kinokuniya.co.jp>

出版文化の担い手として、販売に止まらず
良質の書籍出版に携わること念願に小社出
版部は創設されました。

一九五五年の処女出版「ヒマラヤの男」刊
行以来、次代の学術文化を担う多くの若手研
究者を著者、翻訳者として発掘、哲学・思想、
文学評論、歴史、人類学、自然科学、更に、
学術・公共図書館の基本資料である蔵書目録
類、索引類などの参考図書及びCD-ROMな
ど多分野に亘る出版活動を行っております。
『文化人類学叢書』『科学選書』『数学叢書』
『叢書・脳を考える』など、小社出版の根幹
をなしてきた叢書からは数々の定番教科書が
生まれており、中でも「利己的な遺伝子」

(科学選書九)はロングセラーとして増刷を
重ねています。

一九九四年には、一九六〇年〜七〇年代の
『紀伊國屋新書』の中から復刊要望の高かつ
た七〇点を精選復刻、近年は、図鑑『ポケッ
トペディア・全二〇巻』、仏ビジュアルブッ
ク翻訳『コレクション・知慧の手帖』の刊行
により新たな読者層獲得にも取り組んでいます。

小社創業七〇周年記念出版企画でもあり、
シートン幻の名著の本邦初紹介となる『シー
トン動物誌・全一二巻』は昨春秋に遂に完結
いわゆる『動物記』では描けなかった野生動
物の真実の姿を、リアルなスケッチ、細密画
などを交えて克明に描写し、自然、動物に温
かい目を向ける良書として学校図書館に浸透
しつつあります。昨年はこの他に、宮台真
司コーディネーター「へ性の自己決定」原論、
ガダリ思考の集積「分裂分析的地図作成法」、
グレイヴスの代表作の完訳復刊「ギリシア神
話新版」、異色の顔論、春日武彦「顔面考」、
など約三〇点を刊行。本年は小社随一のロン
グセラー、ユング「元型論」(正・続)の増
補新版(二巻本)が刊行の目玉です。

- 『愛するということ〈新訳版〉』 エーリッヒ・フロム 46判 1262円
- 『悪について』 エーリッヒ・フロム 46判 1320円
- 『生きるということ』 エーリッヒ・フロム 46判 1359円
- 『消費社会の神話と構造』 ジャン・ボードリヤール 46判 1942円
- 『暗黙知の次元』 マイケル・ボラーニ 46判 1456円
- 『新版 自然界における左と右』 マーティン・ガードナー A5判 3398円
- 『生誕の災厄』 E.M.シオラン 46判 1900円
- 『富国有徳論』 川勝平太 46判 2136円
- 『利己的な遺伝子』 リチャード・ドーキンス 46判 2718円
- 『広告は私たちに微笑みかける死体』 オリビエーロ・トスカーニ 46判 1748円
(価格はすべて本体価格です)



株式会社 勁草書房

一〇二一〇〇〇四

東京都文京区後楽二―三三一―五

電話 〇三―三八一―四一六八六一

FAX 〇三―三八一―四一六八五四

URL <http://www.keisoshobo.co.jp>

勁草書房は、一九四八年四月二日柳の芽も若々しい銀座七丁目に、金沢市に本社を置く株式会社大和（百貨店業）の出版部として誕生しました。

一九四八年六月に小泉信三『文学と経済学』が刊行され、安部能成、高坂正顕、田中耕太郎、大河内一男、尾高朝雄、末川博、宮沢俊義、和辻哲郎等の書を矢継ぎ早に刊行、世に問いました。

一九四九年、画期的なものとして「法学普及講座」が刊行され、そのうち我妻栄『民法』宮沢俊義『憲法入門』は、今日まで、いままお多数の読者の要望に応えています。

一九六八年には、折からの大学紛争、地方自治復権の動きの中で、専門書としては空前

のベストセラー、羽仁五郎『都市の論理』が刊行されました。創業二〇周年の年であります。

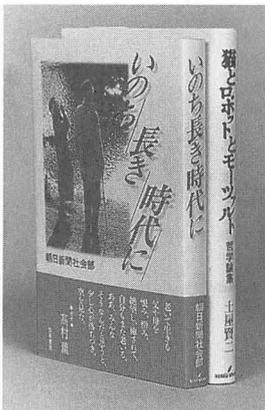
一九八三年には、ニューアカデミズムを代表する気鋭の著者、浅田彰『構造と力』が今日の知的フロンティアを確定する試みとして青年層を魅了しました。

一九八七年突如として襲ったアメリカのブラックマンデーは世界を震撼させました。

その前年に出版されたラビ・パトラ『一九九〇年の大恐慌』（佐藤隆三訳）は、まさにその危機を訴え、またバブル経済の崩壊を予言した書として一大センセーションを巻き起こし、ベストセラーとなりました。

その他、時代の要請に依って幾多の東南アジア関係書、またフェミニズム・女性学関係書、言語学・美学関係書と耳目を集める出版を続けております。

〈真理と自由のために〉をモットーに、つねに新しい感覚で、新しい理論を追求する姿勢をもって、さらに人文科学、社会科学、自然科学等の総合出版社として、良書の刊行を持続していきたいと思っております。これまでのご愛顧に感謝し、倍旧のご支援をお願いする次第であります。



- 『偽りの同盟』 秋野豊 A5判 3000円
 - 『猫とロボットとモーツァルト』 土屋賢二 46判 2200円
 - 『〈私〉の存在の比類なさ』 永井均 46判 2500円
 - 『構造と力』 浅田彰 46判 2200円
 - 『女らしさ』 S.ブラウンミラー 46判 3300円
 - 『女であることの希望』 吉澤夏子 46判 2200円
 - 『私的所有論』 立岩真也 A5判 6000円
 - 『いのち長き時代に』 朝日新聞社会部 46判 2200円
 - 『スクールカウンセリング入門』 ダリル・ヤギ 46判 2200円
 - 『憲法入門』 樋口陽一 46判 1800円
- (価格はすべて本体価格です)

株式会社 社会思想社

一三三〇〇三三三

東京都文京区本郷三二二五一一三

電話 〇三三三八一三三一一〇五

FAX 〇三三三八一三三一九〇六一

URL <http://www.shakaishisou.co.jp>

E-mail shakaisso@aol.com

昭和二年二月、東京大学教授河合榮治郎の門下生により、「世に古典として残るような名著を刊行する」ことを目的に社会思想研究会出版部として創立されました。

その後GHQによる翻訳出版の入札でルース・ベネディクト『菊と刀』、アーノルド・トインビー『歴史の研究』等を落札し、後の発展の基礎を築くことになりました。

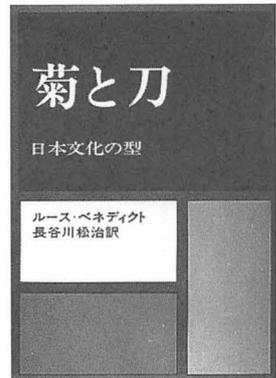
昭和二六年には折からの文庫ブームを背景に「現代教養文庫」を刊行いたしました。文庫にカラーカバーを採用し、写真文庫を採用したのも現代教養文庫が初めてです。この頃から数ある文庫の中でも多くの方々の人気者になり支持されました。

文庫と並んで人文・文学・芸術等のジャンルでの出版も活発で、河合榮治郎全集、トインビー著作集等の全集や教養カラーシリーズ、日本古代文化の探究シリーズ等も読者の皆様の高い支持をいただきました。昭和五二年にはA・ヘイリーの『ルーツ』が刊行され、ベストセラーとなりました。現在ルーツという言葉が定着していますがこれは当社の『ルーツ』がルーツなのです。

一方、文庫のほうも以後続々と刊行され、ゲームブックという新分野を開拓する一方、修道士カドフェルシリーズに代表される「ミステリボックス」、優れたノンフィクション作品を集めた「ベストノンフィクション」等を積極的に刊行し現在までに総刊行点数は一七〇〇点にもなりました。また最近では経済関係の文庫も多く刊行され、辛口評論家の佐高信の本も評判を得ています。なかでも『タレント文化人一〇〇人斬り』は爆発的に売れ発売以来二〇刷りと版を重ねています。

二〇世紀もあと一年余りですが社会思想社も現代教養文庫を中心に人文・文学・芸術・その他の分野で新しい世紀にふさわしい出版活動を続けて行きたいと思えます。

- 『菊と刀』 ルース・ベネディクト 46判 1500円
『ギリシャ神話』 山室静 46判 1800円
『聖書物語』（旧約篇） パール・バック 46判 1900円
『聖書物語』（新訳篇） パール・バック 46判 1500円
『歴史の研究1』 A.トインビー 46判 2400円
『歴史の研究2』 A.トインビー 46判 2400円
『歴史の研究3』 A.トインビー 46判 2400円
『東方見聞録』 青木富太郎訳 46判 1500円
『三六五日事典』 社会思想社編 46判 1900円
『突破への道』 M.ジェイムス 46判 2300円
(価格はすべて本体価格です)



株式会社 春秋社

一〇一〇〇二一

東京都千代田区外神田二一八一六

電話 〇三―三三三―五五九六―一

FAX 〇三―三三三―五三三―一三八四

大正七年に創業した小社は昨年八〇周年を迎えました。

創業以来、哲学、思想、宗教、文学、音楽など人文書の分野で理想的な出版をめざし、一定の領域を深く掘り下げてゆく方針を貫いてまいりました。

創業からの主な出版物としては、大正八年にわが国最初の『トルストイ全集』を刊行、同一〇年の西田天香著『懺悔の生活』、中里介山著『大菩薩峠』は超ベストセラーとなりまた続いて出版した『世界大思想全集』『大思想エンサイクロペディア』『日本歌謡集成』『世界音楽全集』は当時としては他に例をみない大型企画として評判になり、読者の注目を集めました。

最近の書籍を紹介しますと創業七〇周年企

画として一九八八年に刊行開始した『決定版 中村元選集』は完結まで残すところ一卷となりいよいよ本年七月に本巻三二巻、別巻八巻が完結します。総頁数は二万六千頁に及びインド哲学仏教学関係の個人著作集としては例のない規模です。東洋の叡知の宝庫ともいべき本選集ですが、学術的に高度な内容が平易な言葉で語られており、専門家はもとより一般の読者にも支持を受け、重厚な本としては順調な増刷が続けております。

さて、全球的規模で環境破壊が問題となつていますが、何十年も前から独自の「自然農法」を実践し、自らも地球の危機を救うため諸外国の要請であらゆる国へ出かけ、独自に開発した粘土団子で豊かな緑を取り戻しているのが福岡正信先生です。

その主著『自然農法・わら一本の革命』は全世界で翻訳され、今や日本以上に海外で著名になった感があります。

田も耕さず、肥料もやらず、農薬も使わず、草も取らずに驚異的に稔る稲が実証する真実！あなたは信じられますか？

小社で福岡正信先生の全著作（六点）を刊行しています。



- 『自然農法・わら一本の革命』 福岡正信 46判 1602円
 - 『それでも人生にイエスと言う』 フランクル 46判 1700円
 - 『ナチュラル・メディシン』 ワイル 46判 3107円
 - 『自信を育てる心理学』 ブランデン 46判 1650円
 - 『やすらぎ療法』 ジャンボルスキー 46判 1748円
 - 『こころの手足』 中村久子 46判 1408円
 - 『ブッダ入門』 中村元 46判 1650円
 - 『タオ心理学』 ボーレン 46判 1500円
 - 『音楽療法士の仕事』 生野里花 46判 2000円
 - 『音楽の癒しのちから』 日野原重明 46判 1800円
- (価格はすべて本体価格です)

株式会社 晶文社

一〇一〇〇二一

東京都千代田区外神田二一―一―二二

電話 〇三―三三―五五―四五〇一

FAX 〇三―三三―五五―四五〇六

E-mail KYU06657@niftyserve.or.jp

「略、さて、私どもは、このたび晶文社という名のささやかな書肆を開きました。俗にいう山椒は小粒でもピリリと辛いのが私どものもっとも尖端的で、同時にもっとも伝統的なもの、要するに語の根源的な意味でのラジカルな出版物を出したいというのが私どもの願いです」。昭和三五年に出した〈創業の御挨拶〉からの引用です。「略、しかし意気は意気、願いは願いです。それだけで出版界の荒海を乗りきることは難しいと思います。もとより企画、販売についての創意工夫に、持てる力一ぱいの努力はいたします。略、どうかこれら私どもの仕事に御支持を賜り、もしも晶文社の名を一つの生きたもの

とご記憶下さることあれば、これ以上の喜びはありません。略、」と、挨拶は続きます。

そして、昭和五三年頃の朝日新聞の紙上に「ウエスカ、ニザン、エンツェンスベルガー、ベンヤミンらの翻訳書、ジャズの本、植草甚一・長谷川四郎らの著作集一九六〇年以降、晶文社は間違いなく、ある知的風土を築いた一群の出版物を出し続けた」と書かれました。

そして、二〇周年記念出版で『島尾敏雄全集』（全一七巻）を刊行し、三〇周年記念出版では大型インタビュー集『子供！』を刊行しました。

最近では、〇・サックスらのメディカル・エッセイ、鶴見俊輔座談全一〇巻、そして全ての翻訳を刊行してきたエンツェンスベルガーの最新刊『数の悪魔』が創業以来の大ヒットとなりました。

現在までの刊行点数は約一五〇〇点となります。

前記〈創業の御挨拶〉の最後はこう続きます「今後皆様に直接間接種々お世話になる機会があるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします」。

- 『数の悪魔』 エンツェンスベルガー A5判 2840円
『母なる大地 父なる空 上・下』 ハリソン 46判 各1533円
『幻獣辞典』 ボルヘス 46判 2400円
『考える練習をしよう』 バーンズ B6判 1650円
『自分をまもる本』 ストーンズ A5判 951円
『子どもの文化人類学』 原ひろ子 46判 1300円
『記憶のつくり方』 長田弘 A5判 1800円
『数学放浪記』 フランクル 46判 1900円
『20世紀をつくった日用品』 柏木博 A5判 2300円
『定本 映画術』 ヒッチコック B5判 4000円
(価格はすべて本体価格です)



株式会社 誠信書房

東京都文京区大塚三二〇一六

電話 〇三―三九四六―五六六六

FAX 〇三―三九四五―八八八〇

E-mail JDXX07771@nifty.ne.jp

昭和三〇年一月、千代田区神田小川町三の二にて創業。昭和三二年一月、株式会社誠信書房として発足。三七年一〇月、文京区大塚三の二〇の六に移転し、現在に至る。当初は社員四名から出発し、現在は出版点数一五〇〇点を数えるまでに至っている。

創業当初から、思想・哲学・宗教・教育関係書等を幅広く出版し、雑誌『人間の科学』も刊行。社会の複雑化とともに心理学・カウンセリング等に期待が寄せられ、学会設立当初から共に歩んできた臨床心理学や社会心理学の分野の出版も活発化。カウンセリングという言葉の意味が全く理解されなかった時代に出版された友田不二男著『カウンセリングの技術』、河合隼雄著『カウンセリングの実

際問題』等未だに読み継がれているロングセラーも多い。現代家族の問題を先駆的に指摘した斎藤学著『家族依存症』をはじめ、精神医学、精神分析の書籍も多く刊行している。

さらに、ターミナル・ケアや自殺および死を扱った分野がある。臓器移植に関する問題提起の書である多田富雄・河合隼雄編『生と死の様式』や人工授精・遺伝子治療の問題に関する考察を行なった多田富雄・中村雄二郎編『生命——その始まりの様式』等のシリーズも時代に先駆けて出版してきている。

創業当初から力を入れてきた社会福祉の分野では、高齢化社会を前に多様な国家資格に合わせた社会福祉・介護福祉・精神保健福祉の定評ある専門書や参考書も出版している。

最近の主な出版物に、デビソン、ニール著『異常心理学』、大山正他編『新編感覚・知覚心理学ハンドブック』、古川孝順他編『社会福祉士・介護福祉士のための用語集』など。さらに、本年は二〇世紀を総括するディヴァイン他編『二十世紀思想家辞典』の刊行を予定している。社会の複雑化とともに、益々高まってきている人文科学の領域の書籍への期待に応えられる出版を目指している。



- 『図説 心理学入門』 齊藤勇 A5判 1800円
 - 『影響力の武器』 R.チャルディーニ A5判 3300円
 - 『カウンセリングの実際問題』 河合隼雄 A5判 2000円
 - 『箱庭療法入門』 河合隼雄 A5判 2000円
 - 『誠信 心理学辞典』 外林大作他編 46判 3800円
 - 『カウンセリング事典』 國分康孝編 46判 3800円
 - 『新・仏教辞典』 中村元監修 46判 3700円
 - 『家族依存症』 斎藤学 46判 1500円
 - 『ケースワークの原則（新訳版）』 F.P.バイステック 46判 2000円
 - 『社会福祉士・介護福祉士のための用語集』 古川孝順他編 A5判 3300円
- (価格はすべて本体価格です)

株式会社 創元社

本社

五四一〇〇四七

大阪市中央区淡路町四一三六

電話 〇六一六三三二一九〇二〇

FAX 〇六一六三三三三三二一一

一六二一〇八〇一

東京支店

東京都新宿区山吹町三三四一一

電話 〇三三三三六九一一〇五一

FAX 〇三三三三二九一七二三九

URL <http://www.sogensha.co.jp>

●創元社小史

一九二五年(大正一五)六月、矢部良策が創業。前身は、金沢出身の矢部外次郎が一八九二年(明治二五)に開店した書籍小売商、矢部晴雲堂。一八九七年に社名を福音社と変更し、キリスト教書籍を中心とした取次業を始めた。その一室を借りて、外次郎の次男良策が『文芸辞典』を刊行したのが、創元社の始まり。

当初は谷崎潤一郎、川端康成、横光利一、

また大阪の薄田泣菫、織田作之助などの文芸書を刊行して一躍注目を集めたが、その後、教養書に転じて『創元選書』をはじめ、『創元科学叢書』『日本文化名著選』『哲学選書』などを刊行。

矢部良策のあとには長男文治に引き継がれ、現在は文治の長男矢部敬一が社長。

●現在の活動

■自己啓発書シリーズ 累計四〇〇万部を超えるロングセラーとなったD・カーネギー『人を動かす』『道は開ける』等。

■心理学シリーズ 河合隼雄『カウンセリング入門』、小此木啓吾『精神医学ハンドブック』等。

■小辞典シリーズ 『ことわざ名言事典』等。英語シリーズ 『英語論文によく使う表現』『パターン活用・英文手紙の書き方』等。

■「知の再発見」双書 フランスのガリマール社と提携したカラー版百科全書で既刊八〇点を数える。

■西洋史 『ローマ皇帝歴史代誌』『ファラオ歴史代誌』等。

■関西の文物紹介 地元に着した『米朝落語全集全7巻』『大阪ことば学』『大阪ものしり事典』等。

その他、キリスト教、東洋医学、生活実用書、趣味の本と、人文系の教養書、実用書全般を幅広く手がけている。

キリスト教の精神を忘れず、良書を世に送り続ける出版社でありたい。

『図説 心理学入門』 齊藤勇 A5判 1800円
『影響力の武器』 R.チャルディーニ A5判 3300円
『カウンセリングの実際問題』 河合隼雄 A5判 2000円
『箱庭療法入門』 河合隼雄 A5判 2000円
『誠信 心理学辞典』 外林大作他編 46判 3800円
『カウンセリング事典』 國分康孝編 46判 3800円
『新・仏教辞典』 中村元監修 46判 3700円
『家族依存症』 斎藤学 46判 1500円
『ケースワークの原則(新訳版)』 F.P.バイステック 46判 2000円
『社会福祉士・介護福祉士のための用語集』 古川孝順他編 A5判 3300円
(価格はすべて本体価格です)



株式会社 草思社

一五〇〇〇〇一

東京都渋谷区神宮前四一六六一二六

電話 〇三三四七〇一六五六五

FAX 〇三三四七〇一六四〇〇

URL <http://www4.TokyoWeb.or.jp/soshisha/>

小社は一九六九年に出版部門を創立しました。創立三〇年を経過しています。第一回刊行は『ビートルズ』（ビートルズ誕生から解散までのノンフィクション）です。現在までに総刊行点数八五〇点を超え、ここ数年は年平均六五点ほどを刊行しています。社員数三五名の小さな会社で、社屋はずっと原宿にあり、既成の出版界から離れた位置で、独自の出版活動を行ってきました。

その間、初期の『マザーゲースのうた』『間違いだらけのクルマ選び』から近年の『清貧の思想』『他人をほめる人、けなす人』まで、数多くのベストセラーを刊行し、読書界に話題を提供してきました。

一方、『大国の興亡』『告白』（エリツィン

自伝）『ソンジャ』『日はまた沈む』『平気どうそをつくる人たち』など、欧米の優れたノンフィクションの翻訳には定評があり、小社刊行物の柱の一つになっています。

また日本人の著者による書き下ろし作品としては、岩田宏の小説、谷川俊太郎のエッセイなどの文学関係から、鳥居民の『昭和二十年』『横浜富貴楼お倉』などの歴史評論、西岡常一（宮大工棟梁）の『木のいのち 木のころ』や『神田鶴八鮎ばなし』などの職人ばなし、『日本人はどのように建造物をつくってきたか』（全一〇巻、サンケイ児童出版文化賞）というユニークな建築絵本シリーズなどがあります。

また太平洋戦争関係の本（倉沢愛子『日本占領下のジャワ農村の変容』サントリー学芸賞、ソーン『太平洋戦争とは何だったのか』など）、最新科学についての本（サイエンス・マスターズ 全二二巻、ゲルマン『クォークとジャガー』など）、現代社会をとらえたルポルタージュ（中村智志『段ボールハウスで見る夢』講談社ノンフィクション賞、佐瀬隼『うちの子が、なぜ！』など）も得意の分野であり、今後も現代社会の諸問題をとらえた斬新なテーマ、表現、本づくりを行おうところをかけています。



- 『シリーズ 日本人はどのように建造物をつくってきたか 全十巻』 西岡常一他 B5判 セット価22000円
- 『うちの子が、なぜ！』 佐瀬隼 46判 1400円
- 『決定版 大国の興亡（上・下）』 ボール・ケネディ 46判 各2800円
- 『愛はなぜ終わるのか』 ヘレン・E・フィッシャー 46判 1845円
- 『木のいのち 木のころ（天）』 西岡常一 46判 1359円
- 『心のおもむくままに』 スザンナ・タマーロ 46判 1400円
- 『庭仕事の愉しみ』 ヘルマン・ヘッセ 46判 1900円
- 『平気どうそをつくる人たち』 M・スコット・ペック 46判 2200円
- 『女盗賊プーラン（上・下）』 プーラン・デヴィ 46判 各1600円
- 『他人をほめる人、けなす人』 フランチェスコ・アルベローニ 46判 1600円
（価格はすべて本体価格です）

株式会社 筑摩書房

一一一八七五五

東京都台東区蔵前二一五一三

電話 〇三五六八七二六八〇

FAX 〇三五六八七二六八五

E-mail Eigyoinfo@chikumashobo.co.jp

jp

小社は一九四〇年(昭和一五年)六月に創業いたしました。それ以来文芸書、人文書を中心とする総合出版を今日まで継続してまいりました。中でも「現代日本文学全集」は戦後の文学全集ブームの牽引的存在で全巻合計すると千二百万部という途方もない売れ行きを示し、専門家からも高い評価を得ました。その後各種の日本・世界文学全集、さらに「明治文学全集」など定評ある文学全集を数多く刊行しました。また「定本 柳田國男集」・「校本 宮澤賢治全集」・「太宰治全集」・「井伏鱒二全集」・「ブルースト全集」などの個人全集群に見られる仕事の積み重ねに対して、全集の筑摩という評価を出版界で得るに至り、

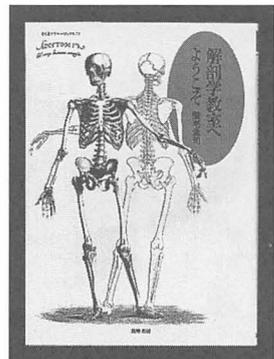
毎日出版文化賞など様々な賞を頂戴しました。

一九七八年には経営危機に見舞われ、会社更生法の適用を受ける事態に陥りましたが、多くの読者の支持によって十年余で再建することができました。そのような困難な中において、「ちくま文庫」・「ちくま学芸文庫」・「ちくま新書」など新しい分野に進出し、独自の路線を打ち出し、新しい読者の開拓に成功しました。とりわけ「ちくま学芸文庫」や「ちくま新書」は入門書として全国の大書店の人文書の棚にも置いていただいています。

中・高校生向けの入門書として評価の高い「ちくまプリマーブックス」には、大人の読者にとって格好な人文ジャンルの入門書も数多くあります。また「ちくま文学の森」・「ちくま日本文学全集」などのユニークなシリーズは、多くの若い読者に文学の面白さを再認識してもらえた企画です。

単行本をはじめ、他の各種のシリーズ等もユニークで質の高い本作りを目指して編集活動をしており、成果が開始しているところであります。最近では「老人力」(赤瀬川原平)が四十万部を超えるベストセラーとなりました。これからも本らしい本を出し続けます。

- 『日本の歴史をよみなおす』 網野善彦 B6判 1100円
『続・日本の歴史をよみなおす』 網野善彦 B6判 1100円
『解剖学教室へようこそ』 養老孟司 B6判 1068円
『考えるヒト』 養老孟司 B6判 1068円
『自分のなかに歴史をよむ』 阿部謹也 B6判 1100円
『発情装置』 上野千鶴子 A5判 1900円
『コミュニケーション不全症候群』 中島梓 46判 1700円
『ヴェニス商人の資本論』 岩井克人 46判 2000円
『原典訳 チベットの死者の書』 川崎信定 46判 1700円
『ヒューモアとしての唯物論』 柄谷行人 46判 1845円
(価格はすべて本体価格です)



財団法人 東京大学出版会

一三三―八六五四

東京都文京区本郷七―三―一

(東京大学構内)

電話 〇三―三八二―一八八一四

FAX 〇三―三八二―六九五八

URL <http://www.udp.or.jp/>

東京大学出版会は一九五一年三月、ときの東京大学総長、南原繁先生の発意により全学教官有志の協賛を得て、日本の国立大学では初めての大学出版部として設立されました。

爾来、本会は「大学に於ける研究とその成果の発表を助成するとともに、広く一般書、学術書の刊行により学問の普及、学術の振興をはかる」(設立趣意書) ために、読者のみなさまの熱いご支援をいただきながら、今日まで着実な出版活動を通じて参りました。これからも「設立目的」を堅持し、理想を高く掲げ、広い視野に立って、出版の営みを継続して参りたいと思っております。

本会設立以来、五千点を超える出版物を読

者の皆様にご案内してまいりました雑誌「U P」と目録類をご紹介します。

『UP』

学問の最前線やその周辺のトピックス、読書論や書物をめぐる小論・エッセイ、歳時記風のコラムを載せた月刊誌。巻末では毎月の新刊・重版のご案内を掲載。[年間購読料(送料・税共)五〇〇円]

『図書目録』

設立より現在に至るすべての刊行物(英文、史料・復刻を除く)を収録した総合目録。

『教科書目録』

小会の既刊書の中で全国の大学において教科書採用されているものを、主要目次・ISBNコードなどを付して分野別に掲載。

『史料・復刻目録』

小会では、東京大学史料編纂所の刊行物をはじめ、数多くの史料集を刊行・復刊し、その普及に努めてきました。本目録は可能な限り一卷ごとの内容まで検索できるように収録。

『Catalog of English Editions』

小会の英文出版の歴史は一九六〇年にまでさかのぼる。本カタログは、現在入手可能な一五〇余りのタイトルをすべて収録。その分野は古典文学から自然科学まで多岐にわたる。

「目録類は無料でお送りいたします」



『丸山眞男講義録』全7冊 丸山眞男 A5判 3200円～3600円 (⑤⑥は続刊)

『20世紀システム』全6巻 東京大学社会科学研究所編 A5判 各3800円

『心理学』鹿取廣人他編 A5判 2300円

『知の技法』小林康夫他編 A5判 1500円

『ナショナルヒストリーを超えて』小森陽一他編 46判 2300円

『英米法辞典』田中英夫編集代表 菊判 15000円

『民法 [第二版] I・II・III』内田貴 A5判 3200円・3600円・3500円

『刑法総論講義 [第三版]』前田雅英 A5判 3600円

『見る脳・描く脳』岩田誠 A5判 2600円

『一般気象学 [第二版]』小倉義光 A5判 2800円

(価格はすべて本体価格です)

株式会社 日本評論社

一七〇一八四七四

東京都豊島区南大塚三一一二一四

電話 〇三三九八七七八六二一

FAX 〇三三九八七七八五九〇

小社は、一九一八年（大正七年）に創業されました。時あたかも大正デモクラシーの勃興期、創業当初から活発に出版活動を展開して参りました。戦中には、言論弾圧事件として名高い河合栄治郎事件・横浜事件などの試練に見舞われたこともありましたが、このような経緯からか、当社は屈指の〈硬派〉出版社と目されて参りました。

戦後も社会科学書を中心に活動してまいりましたが、一九六〇年前後に「法学セミナー」「経済セミナー」「数学セミナー」のクリンナップを創刊し、出版界に学術教養誌ともいふべき新ジャンルを創出しました。同時に数

学書の出版に歩を進めました。また、隔月刊誌「からだの科学」（一九六

四年創刊）「こころの科学」（一九八五年創刊）は、現代人の〈からだ〉と〈こころ〉の不安に真摯に応える雑誌として、高い評価をいただいております。創刊七〇年を迎えた法理学雑誌「法律時報」を加え、いくつもの分野にはりめぐらした雑誌ネットワークを中心に、新しいスタイルの総合出版社をめざして活動を続けております。

当社発行のテキストブック・研究書・実務書・実用書は、書店で、またみなさまの書架で、お馴染みのことと存じます。

最近では、九七年暮れから、『こころの科学』に掲載された特別企画の中から特に要望の多いものに、適宜、アップトゥデートな情報を加筆して単行本化した『こころの科学セレクション』シリーズや、九六年の「協定書」の締結により全面的解決をみた水俣病裁判の四〇年におよぶ歴史と教訓を後生に伝えるべく『水俣病裁判—全史（全四巻）』等を刊行中です。

昨年は、読者の皆様のご支援のおかげで、創業八〇周年を迎えることができました。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願いいたします。

- 『こころの旅』 神谷美恵子 46判 1500円
 - 『からだの科学選書』精神科治療の覚書』 中井久夫 46判 2140円
 - 『[新版] 精神医学ハンドブック—医学・保健・福祉の基礎知識』 山下格 A5判 2300円
 - 『分裂病がわかる本—私たちはなにができるか SUR VIVING SCHIZOPHRENIA』 E.トリー A5判 2600円
 - 『事例に学ぶ心理療法』 河合隼雄 A5判 2800円
 - 『セラピスト入門—システムズアプローチへの招待』 東豊 46判 1800円
 - 『ガイドブック社会調査』 森岡清志 A5判 2800円
 - 『入門マクロ経済学（第3版）』 中谷巖 A5判 3400円
 - 『入門・経済学』 伊藤元重 A5判 3000円
 - 『テキストブック現代司法（第3版）』 渡部保夫他 A5判 2800円
- （価格はすべて本体価格です）



福村出版株式会社

一一三〇〇三三

東京都文京区本郷二一三〇一七

電話 〇三―三八―三三九八―

FAX 〇三―三八―八一―二七八六

URL <http://www.fukumura.co.jp>

福村保が一九三九（昭和一四）年七月に福村書店として創業。今年創業六〇周年を迎えます。

当初の出版分野は「教育」を中心にしておりましたが、戦後は順次出版活動を「人文科学」にひろげ、現在に至っております。なお、一九六五（昭和四〇）年に社名を福村出版株式会社に変更いたしました。

現在の出版活動は、教育・保育・障害児教育・心理・社会・政治・思想・歴史などで行われます。

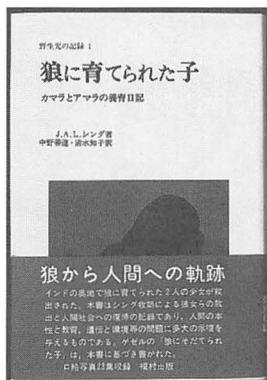
学問の発展と学術書の普及を目標に研究書から入門書まで幅広く出版を行っております。時代の流れと乖離することなく、その時々々の読者の要望を的確に捉え人文科学の魅力を示す。

ビール出来る書籍を刊行し続けたいと考えております。各分野の代表的刊行物は次の通りです。

教育・障害児教育分野では『野生児の記録』（全七巻、一九七七年）があり、特に本シリーズの第一巻『狼に育てられた子』はロングセラーとして広く知られております。『手話を学ぼう 短文篇・生活篇・社会篇』（一九七九年）は初めて市販された手話の本として、そして『心身障害辞典』（一九八一年）は基本図書として評価を得ております。

心理の分野においては『応用心理学講座』（全二三巻、一九八八年）、『発達心理学ハンドブック』（一九九二年）等をはじめとする専門書を多数刊行してまいりました。

政治の分野では『西欧政治思想史』（一九七五年）、『国際政治』（一九八六年）等の名著の翻訳出版に力を注いでまいりました。思想の分野では『フォイエエルバッハ全集』（全一八巻、一九七三年）の発刊、歴史の分野では『原敬日記』（全六巻、一九六五年）および『明治前期の憲法構想』（一九六七年）は基本文献として大きな支持を集めました。なお、インターネット上にホームページを開設しておりますので、ご覧いただけ幸いです。



- 『狼に育てられた子（野生児の記録1）』 J.A.L. シング 46判 1200円
『手話で歌おう』 藤野信行 A5判 1600円
『小・中学生の手話教室 ファミリーライフの巻』 中野善達他 46判 1200円
『小・中学生の手話教室 スクールライフの巻』 中野善達他 46判 1200円
『スクールカウンセラー事例ファイル（全6巻）』 田上不二夫他編著 46判 各2000円
『性格心理学ハンドブック』 詫摩武俊監修 A5判 18000円
『新訂血液型と性格』 大村政男 46判 2200円
『人間学のすすめ』 安岡正篤 46判 1600円
『ザ・フェデリリスト』 A.ハミルトン他 A5判 16000円
(価格はすべて本体価格です)

株式会社 平凡社

一五二一八六〇一

東京都目黒区碑文谷五―一六一一九

電話 〇三―五七二―一―二三三四

FAX 〇三―五七二―一―二三三九

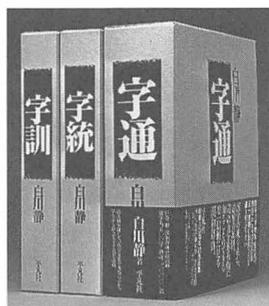
URL <http://www.heibonsha.co.jp/>

一九一四年四月、成蹊社から「ポケット顧問や、此は便利だ」が出版されました。下中彌三郎は「大正のはじめ頃、私は、埼玉師範に教鞭をとっていたが、試験答案をしらべていて思いついたことが、学生の文字の知識の足りなさ、用語、用字のむちゃくちゃなのにあきれて、『間違いやすい文字とその使い方』を話して聞かしたところ、存外、興味をもつ風であった。(中略)それで新聞語の解説と文字便覧とを一本にすれば喜ばれはせぬかと考え、『何か書いてくれ』と頼んで書いていた成蹊社の主人秋永君に話したところ、『や、これは便利な本ですな』と二つ返事で引きうけてくれ、書名をどうしますかと、聞

くから、その秋永君の言葉をそのまま『や、此は便利だ』とした」と語っています。その後、下中彌三郎は『や、此は便利だ』の紙型を成蹊社から買い取り、谷中初音町の仮住いに、妻の名義で平凡社を興しました。下中彌三郎が略して『や便』と称したこの本は、以来八十有余年の今日まで、『世界大百科事典』を主軸とする小社の出版活動の礎となりました。

下中彌三郎が生まれた六月一二日は小社の創業記念日であり、また月刊『太陽』の発売日です。そして念願の新書を、今年五月二〇日に創刊いたします。九三年より創刊に向けて研究・準備してまいりました。「自分を広げる、世界が変わる」を合言葉に、生きていく上でヒントになるような新書づくりを目指しています。ブックデザインは菊地信義氏。既存の新書の装幀にない斬新なデザインで、人目をひくものになっております。シンボルマークはハヤブサの図案です。ヨーロッパの伝承では、この鳥は世界樹の頂から世の動きを眺め、神に残らず伝えるとされています。平凡社新書は、時代のクロスロードから、力強く翔び立ちます。

- 『字統』 白川静 A5判 6602円
- 『字通』 白川静 B5判 21905円
- 『哲学事典』 林達夫他監修 A5判 9223円
- 『西洋思想大事典』 フィリップ・P.ウィーナー編集主幹四六倍判 75800円
- 『心理学事典』 梅津八三他監修 B5判 12000円
- 『地学事典』 地団研地学事典編集委員会編 A5判 22000円
- 『世界大博物図鑑』 荒俣宏 四六倍判 99029円
- 『日本の野生植物 草本編』 佐竹義輔他 B6判 7800円
- 『日本の野生植物 木本編』 富成忠夫他 B6判 6602円
- 『飲食事典』 本山荻舟 B5判 6620円
(価格はすべて本体価格です)



財団法人 法政大学出版局

一〇二一〇〇七三

東京都千代田区九段北三二一七

電話 〇三―五二―四一五五四〇

FAX 〇三―五二―四一五五四二

小局は法政大学創立七〇周年記念事業の一環として創立された。処女出版は一九四九年四月刊行のJ・ハーシー『ヒロシマ』、史上初の原爆記録である。これを皮切りに翻訳書や教養書を精力的に企画・刊行し、戦後啓蒙期における大学拡張の役割を果たした。

一九六〇年代後半には研究書・教科書に重点をおき、六五年以降、後述の諸企画を開始し、現在に至っている。創業以来半世紀、二千余点を世におくり、ここ二〇年ほどは毎年七〇点ほどの新刊を刊行している。

出版活動の骨格

専門研究書・教科書・一般教養書の三部門、オリジナルと海外文献の翻訳・紹介の両面、この調和と連携に留意しつつ、人文・社会科学を中心に総合的な学術出版をめざす。

今日では以下のような叢書・シリーズ、著

作群が出版活動の骨格をなしている。

主な叢書・シリーズ

〈叢書・ウニベルシタス〉	既刊	六四〇点
〈りぶらりあ選書〉	既刊約	一九〇点
〈ものと人間の文化史〉	既刊	九一点
〈教養選書〉	既刊	九三点
〈日本芸能史研究〉	既刊	四八点
〈叢書・歴史学研究〉	既刊	一四点
〈叢書・日本文学史研究〉	既刊	一四点
〈比較経済研究所研究シリーズ〉	既刊	一八点
〈法政大学現代法研究所叢書〉	既刊	一八点
〈復刻日本社会運動史料〉	既刊	三五点
戦後社会運動資料	既刊	三五点
主な著作集など		
『J・エール・ベール著作集』		
『デイドロ著作集』		
『ウナムーノ著作集』		
『カール・クラウス著作集』		
『森嘉兵衛著作集』		
エリアス・カネッティ著作群		
金関丈夫著作群		
九九年スタートの新シリーズ		
『韓国の学術と文化』		
『ベルクソン講義録』		



- 『論理哲学論考』 L. ヴィトゲンシュタイン 46判 2800円
 『ベルクソンの哲学』 G. ドゥルーズ 46判 1800円
 『時間と他者』 E. レヴィナス 46判 1700円
 『エクリチュールと差異 (上・下)』 J. デリダ 46判 6700円
 『競争社会をこえて』 A. コーン 46判 4800円
 『聖と俗』 M. エリアーデ 46判 2600円
 『欲望の現象学』 R. ジラール 46判 3800円
 『和船 I・II』 石井謙二 46判 5900円
 『母よ嘆くなかれ (新訳版)』 P. バック 46判 1400円
 『新版古文書学入門』 佐藤進一 A5判 2900円
 (価格はすべて本体価格です)

株式会社 みすず書房

一三三〇〇三三

東京都文京区本郷五三三二二

電話 〇三三八一四一〇一三

FAX 〇三三八一八一六四三五

URL <http://www.msuz.co.jp>

本社の創立と出版方針

一九四五年二月創立。はじめ、美篤書房と書いて、ミスズシヨボウと読んだのですが、当時の読者から時代錯誤の用字法であると叱られ、また漢字制限で作字もままならず、平がなに変えました。処女出版の片山敏彦著『詩心の風光』は、この字で印刷してあります。「みすず・刈る」は、信濃の荒野に生い茂る篠竹のすがたを見て、まだ文字もなかった頃の上代人が、思わず感動の歌ごえを唇にのべたもので、『万葉集』という歌の宝庫におさめられ、一千年のちの私たちに、ふるくそして新しい響きをつたえております。この荒野に立つ人間の形姿は、「物」を「文」に化そうとする出版事業のシンボルとして、ふさわしく思われたのです。

創業より半世紀をこえ、発行書数は二九〇〇点を超えました。『ロマン・ロラン全集』四三巻、『現代史資料』正・続五八巻、『藤田省三著作集』一〇巻などのほか、個々の単行本は、人文科学・社会科学・自然科学・文学・芸術など、ほぼ文化の全領域にわたっており、ます。

「万物は流転する」とは、ソクラテス以前の哲学者へラクレイトスの有名なことばですが、出版社の運命についてもこれが実感されます。出版社がその出版する書物に情熱と意欲をもち、また読者の側から意味や価値がみとめられる限り、その存続は可能であるといえます。

当社はこの点について、きわめて冷静な自己反省をもちたいと希っております。広く多様な出版活動のなかで、創造活動の最高の成果、自由な精神の記念碑、人間の価値を高めるもの、に企画の核心をおき、読書子の生活空間のなかの清々しい爽やかな部分でありたいと希っております。

月刊雑誌『みすず』（創刊は一九五九年四月。購読料は年間、送料共三七八〇円です）は、国の内外を問わず、本社出版物の背景をなす知的精神的風土をしめすさまざまな分野の文章を掲載し、読者各位のご関心にお応えしたく希っております。

- 『夜と霧』 V.E.フランクル 46判 1800円
『生きがいについて』 神谷美恵子著作集1 46判 1500円
『心的外傷と回復』 ジュディス.L.ハーマン A5判 6600円
『最終講義』 中井久夫 46判 2000円
『メディア論』 M.マクルーハン A5判 5800円
『盲者の記憶』 J.デリダ A5判 3600円
『野生の思考』 C.レヴィ=ストロース A5判 4800円
『トリエステの坂道』 須賀敦子 46判 1800円
『科学革命の構造』 T.S.クーン 46判 2200円
『混沌からの秩序』 I.プリゴジン 46判 4000円
(価格はすべて本体価格です)



株式会社 ミネルヴァ書房

本社

六〇七―八四九四

京都市山科区日ノ岡堤谷町一

電話 〇七五―五八一―五一九一

FAX 〇七五―五八一―八三七九

URL <http://www.minervashobo.co.jp/>

東京営業所

一〇一―〇〇五四

東京都千代田区神田錦町三一六（石澤ビル三階）

電話 〇三―三三九六一―六一五

FAX 〇三―三三九六一―六一〇

ミネルヴァ書房は一九四八年「せまりくる黄昏をまてて、はじめて飛び立つミネルヴァのふくろう」（ヘーゲル）のように、第二次大戦直後の混乱と虚虚のなかから創業いたしました。昨年は創業から半世紀をむかえ、出版点数も三〇〇〇点を超えました。これも、読者の皆様のお引き立てによるものと、かくお礼申し上げます。創業以来、学術専門書の出版に堅実な歩みを示し、その中には毎日

出版文化賞、日経・経済図書文化賞、サントリイ学芸賞、和辻哲郎文化賞をはじめ、各種の賞を頂戴し学界・出版界・読書界の注目を集め、わが国出版界におけるユニークな存在としての位置を確立したと自負しております。最近刊行が開始されたシリーズの中でも

「叢書 現代経営学」（全二〇巻）は、経営学をとりまく現状を的確に概観し、既存の理論の枠組みを超えた斬新な視点からの分析が研究者の間からも高く評価されております。歴史の分野からは、「近代ヨーロッパの探究」が刊行されました。近代を構成していた事物

（組織・制度）のなかから具体的なテーマを抽出し、それを複数の視点から見直すことで新たな近代ヨーロッパ像を描き出すことを目的とする本シリーズは、今後も興味深いテーマで続々と刊行の予定です。また、今春には待望の「叢書 転換期のフィロソフィー」（全六巻）が刊行されました。哲学、芸術、科学技術、宗教、文学の各分野から学界をリードする研究者たちが多数参加して、先鋭なる問題意識をもって、「転換期」の哲学的諸相を描き出し、われわれが取り組まなければならない知の営為とは何かを問いかけます。

ミネルヴァ書房では、この他にも福祉の分野をはじめ多分野にわたります。さらに豊かな内容で良書をお届けいたします。

今後の出版活動に是非ご期待ください。



- 『概説西洋哲学史』 峰島旭雄編 A5判 2600円
- 『西歐中世史事典』 ハンス・K.シュルツェ A5判 3800円
- 『西洋の歴史 [近現代編] (増補版)』 木下尚一他編 A5判 2400円
- 『アメリカ合衆国の歴史』 野村達朗編 A5判 2800円
- 『新しい時代と経営学』 片岡信之他編 A5判 2800円
- 『発達心理学辞典』 岡本夏木他監修 46判 6400円
- 『セルフ・カウンセリング』 渡辺康麿 A5判 1800円
- 『自閉症の謎 心の謎』 熊谷高幸 A5判 1600円
- 『総合的な学習で特色ある学校をつくる』 今谷順重編 A5判 2600円
- 『社会福祉小六法1999 [平成11年版]』 ミネルヴァ書房編集部 46判 1500円
(価格はすべて本体価格です)

株式会社 未來社

一〇二一〇〇〇二

東京都文京区小石川三二七二

電話 〇三三三八一四一五五二一

FAX 〇三三三八一四一八六〇〇

創立は一九五一年一月。同年二月には木下順二『夕鶴』、山本安英『歩いてきた道』、アラルコン原作・木下順二脚色『三角帽子』の三点が刊行され、本格的な出版活動のスタートを切りました。

小社のロゴマークは一房のブドウに「未來」の文字を組み合わせていますが、これは山本安英さんを中心とした演劇集団「ぶどうの会」にちなんだものです。

これまでに刊行された書目は二六〇〇点を数えます。創立当初は、演劇をはじめ文学・芸術書を主に刊行していましたが、次第に政治・経済、哲学・思想、女性・生活、ドキュメント、民話などの分野も増加し、現在は哲学・思想を中心とした人文科学系の書籍の比

重が高くなっています。

時代に流されることなく、ながく読み継がれる質の高い書籍を刊行することを第一として出版活動を続けてきましたので、小社にはロングセラーはあってもベストセラーとなつたものはありません。ただ、「ほるぶ」と提携して販売した「日本の民話」シリーズは例外的に売れ、未來社といえば「民話」といわれるほどのブームを巻き起こしました。

小社を代表するロングセラーは、丸山眞男先生の『現代政治の思想と行動』です。一九五六年の上巻（最初は上下二冊でした）刊行以来版を重ね、合本後で一五〇刷を超えています。そのほか内田義彦『経済学の生誕』など刊行から二〇年、三〇年経過しても読み継がれて版を重ねているものが多数あります。

小社は、月刊PR誌『未來』を発行しています。小さいけれども本格的な月刊誌として、学問の最前線やその周辺のトピックス、読書論や書物をめぐる小論・エッセイなどの記事を掲載しているほか、巻末には毎月の新刊や重版などのご案内をしています。購読料は一年間、送料共一二〇〇円です。是非ご購入・ご利用いただきたいと思います。

- 『現代政治の思想と行動 [増補版]』 丸山眞男 A5判 3500円
『コミュニケーションの行為の理論 (上・中・下)』 J. ハーバーマス A5判 各4800円
『開かれた社会とその敵 (第I部、第II部)』 K. ポパー A5判 各4200円
『経済学の生誕 [新版]』 内田義彦 A5判 3800円
『イモと日本人』 坪井洋文 46判 2500円
『朝鮮人強制連行の記録』 朴慶植 A5判 2300円
『マックス・ウェーバー研究』 安藤英治 A5判 4800円
『ブリューゲルの「子供の遊戯」』 森洋子 A5判 7500円
『起源と根源』 小林康夫 46判 2800円
『哲学の使命』 加藤尚武 46判 3200円
(価格はすべて本体価格です)



雄山閣出版株式会社

一〇二一〇〇七十一

東京都千代田区富士見二一六一九

電話 〇三―三三二六―一三三三―

FAX 〇三―三三二六―一六九三八

URL <http://www.nepio.co.jp/yuzan>
kaku/

一九一六年初代社長長坂金雄が国史講習会を組織し、歴史学界の泰斗、新鋭を擁して『国史講習録』および雑誌『国史界』（のちに『中央史談』と改称）を刊行、出版社としての第一歩を踏み出す。大正九年一月、商号を雄山閣と改称。一九二三年の関東大震災で一切が灰燼に帰したが、たちまち出版史上初めてという全集、講座を次々と刊行、斯界の注目をあつめた。『考古学講座』『人類学先史学講座』『東洋史講座』『西洋史講座』をはじめとして、また美術工芸講座としては『日本絵巻物集成』『日本刀講座』『陶器講座』など、いずれも一二巻から五〇巻におよび、その体系化への努力は大好評をもって迎えられた。

とくに『日本風俗史講座』『日本刀講座』は、時流との関係もあって爆発的な売上げをみせた。雑誌『歴史公論』の創刊、書道雑誌『書の友』なども発行、いずれも斯界をリードする評判を得た。

戦後は、一つは戦前からの伝統の継承、もう一つは、新時代に対応する新企画の刊行である。前者では、戦前のテーマを掘り下げた旧石器文化や縄文・弥生・古墳の各時代を概観する講座が完結した。また、書道の分野では篆刻・木簡・甲骨の各大字典をはじめとした字典類、法帖類がある。新企画としては、情報学・図書館学・博物館学の講座や、高齢化社会への福祉学からのひとつの水準を示した総合事典『現代福祉学レキシコン』が刊行された。

一九九六年弊社は、八〇周年を迎えたが、記念企画として『考古学による日本歴史』『全集日本の食文化』『講座日本の民俗学』の各講座がスタートした。同時に刊行された『日本土器事典』は、現在までの考古学が到達した水準を世に示す画期的な企画である。

二一世紀を間近に控えた今、戦後の混乱期に勝るとも劣らない大きな節目を迎えているが、古くて新しい歴史書を主体に世に送り続ける所存です。



- 『日本土器事典』 大川清他編 B5判 25000円
『縄文文化の研究』全10巻 小林達雄他編 B5判 3301円～3398円
『古墳時代の研究』全13巻 河上邦彦他編 B5判 3398円～3700円
『考古学による日本歴史』全18巻（既刊7冊） 大塚初重他編 B5判 3398円～3700円
『全集 日本の食文化』全12巻（既刊10冊） 芳賀登他編 A5判 各4800円
『講座 日本の民俗学』全11巻（既刊7冊） 福田アジオ他編 A5判 各4800円
『大蔵経全解説大事典』 河村孝照他編 B5判 38000円
『甲骨金文字典』全3巻 水上静夫編 A5判 40800円
『新版 日本刀講座』全10巻 本間薫山編 B5判 75000円
（価格はすべて本体価格です）

株式会社 有斐閣

一〇一〇〇五一

東京都千代田区神田神保町二一七

電話 〇三―三三二六五―六八一

FAX 〇三―三三二六一―八〇三五

URL <http://www.yuhikaku.co.jp/>

有斐閣は、一八七七年(明治一〇年)に創業した、わが国有数の歴史を誇る出版社です。

創業時は「有史閣」として古本業として出発し、わが国法律書などの学術書の出版へすすみ、社名を「有斐閣」と改めました。

その後、法律・経済・社会を主軸として社会科学と人文科学の分野の幅広い読者層を対象とした出版を心がけ一九四五年秋には、故美濃部達吉博士の『憲法撮要』を刊行し、戦後の学問復興の先駆けとなりました。

創業七〇周年には『六法全書』を復刊、さらに『新法学辞典』『社会学辞典』や専門分野の講座を刊行、創業八〇周年には、わが国法学界に燦然と輝く『法律学全集』(全六〇巻)を発刊し、二八年の歳月を費やして完

結しました。この間、『有斐閣コンメンタール』の『注釈民法』『注釈刑法』『注釈会社法』を順次刊行し、法学・法曹界の期待に応え、『有斐閣双書』の刊行も開始、以来この双書は『有斐閣ブックス』とともに、大学教育の標準的教科書としての役割を果たしています。創業九〇周年には『法律相談シリーズ』および『有斐閣選書』を発刊しました。

創業一〇〇周年の記念出版として創刊した『有斐閣新書』は、高度な内容をやさしく解説したコンパクト版として親しまれています。その後『有斐閣ビジネス』『有斐閣リブレ』を発売、創業一一〇周年には、新世代の大学テキスト『有斐閣Sシリーズ』を発売、コンメンタール群の新版充実化、一九九五年には、大学教育の変貌に対応した新テキスト『有斐閣アルマ』の刊行を開始しました。

代表的な定期刊行物として、年版の『六法全書』『小六法』『ポケット六法』『判例六法』、雑誌では『ジュリスト』『法学教室』、ムック形式の『判例百選シリーズ』、辞典群の充実およびその電子出版化を行っています。

これからも新しい時代の動向を敏感にとらえ、読者の皆様の要望に応える出版活動を精力的につづけていきたいと思っております。

- 『六法全書』平成11年版 平井他編 菊判 7900円
 - 『小六法』平成11年版 平井他編 菊判 3400円
 - 『ポケット六法』平成11年版 平井他編 B6変形 1340円
 - 『有斐閣判例六法』平成11年版 星野他編 菊判 2800円
 - 『電子ブックT有斐閣判例六法』平成11年版 判例六法編集委員会編 6000円
 - 『民法典の百年』全4巻 広中他編 A5判 セット20800円
 - 『有斐閣経済辞典』第3版 金森他編 46判 4000円
 - 『電子ブックT有斐閣経済辞典』第3版 金森他 6000円
 - 『社会学小辞典 新版』濱嶋朗他編 46判 3800円
 - 『心理学辞典』中島義明他編 A5判 6800円
- (価格はすべて本体価格です)



株式会社 吉川弘文館

一三三〇〇三三

東京都文京区本郷七二一八

電話 〇三三三八二一九一五

FAX 〇三三三八二一三五四四

URL <http://www.yoshikawaka.co.jp>

当社は幕末の安政四年（一八五七）に創業し、明治二十年代から歴史を中心とした専門書の出版社として歩んできました。当社が関わった明治・大正の『古事類苑』（我国最大の百科史料全書）、昭和の『新訂増補国史大系』（日本史研究に必備の史料集）を継ぐ事業として取り組んだのが『国史大辞典』の刊行です。日本史を中心に考古学、民俗学、国文学、地理、美術などの隣接分野も網羅した五四〇〇項目という圧倒的な情報量と、見て楽しめる二一〇〇頁におよぶ刷刷図版、本文中にも系図や肖像画、写真や表などを随所に配し、最新の研究成果を生かした平易で的確な解説と参考文献欄、さらに五〇万語を検

索出来る索引も完備し、立体的な歴史理解を頂ける画期的な内容となっております。おかげさまで最も信頼のおける歴史百科辞典の決定版として、各界から高い評価を頂き、第五回菊池寛賞を受賞いたしました。

本年もこうした長年の歴史専門書出版の経験を生かし、日本史研究に業績を残した研究者の足跡を辿る『日本史研究者辞典』、明治初年までの日本の対外関係を幅広く収めた『対外関係史総合年表』、日本民俗学の到達点を示す『日本民俗大辞典』、日本仏教を知るために必備の『日本仏教史辞典』といったレファレンス図書の刊行を予定しております。

今後当社は我国唯一の伝記叢書として通巻二二冊を数える『人物叢書』、二一世紀にむけた新しい〈知〉のシリーズ『歴史文化ライブラリー』、近代史や歴史学のあり方を大胆に問い直す『ニューヒストリー近代日本』などの叢書、創刊五〇年を越え日本史研究の情報誌として定評ある『月刊日本歴史』を始め、多くの新刊書と専門雑誌を通し、最新の研究成果と歴史研究に役立つ基本史料を読者の皆様にお伝えする努力を続けて参ります。より一層のご支援をお願い申し上げます。



『国史大辞典』全15巻（17冊） 同編集委員会編 46倍判 26000円

『国史大系』全66冊 黑板勝美編輯 菊判 60000円

『有識故実大辞典』 鈴木敬三編 46倍判 18000円

『仏像図典』 佐和隆研編 A5判 3000円

『古文書入門ハンドブック』 飯倉晴武 46判 2500円

『日本仏教史（古代・中世・近世・近代）』 速水侑他 46判 揃10200円

『日本史年表・地図』 児玉幸多編 B5判横開 1200円

『世界史年表・地図』 亀井高孝他編 B5判横開 1300円

『近世農民生活史』 児玉幸多 46判 2400円

『聖徳太子』（人物叢書） 坂本太郎 46判 1800円

（価格はすべて本体価格です）

人文会会員名簿

(〒111-8755 台東区蔵前2-5-3 筑摩書房内)

1998. 12. 現在

	社名	担当者	〒	所在地	電話	FAX
幹事	青木書店	佐藤 貞男	101-0051	千代田区神田神保町1-60	3219-2341	3219-2585
幹事	大月書店	原田 敦雄	113-0033	文京区本郷2-11-9	3813-4651	3813-4656
	御茶の水書房	平石 修	113-0033	文京区本郷5-30-20	5684-0751	5684-0753
	紀伊國屋書店	段塚 省吾	156-8691	世田谷区桜丘5-38-1	3439-0128	3439-3955
	勁草書房	内藤 繁人	112-0004	文京区後楽2-23-15	3814-6861	3814-6854
	社会思想社	对比地邦男	113-0033	文京区本郷3-25-13		
				中銀本郷3丁目ビル	3813-8101	3813-9061
	春秋社	鎌内 宣行	101-0021	千代田区外神田2-18-6	3255-9611	3253-1384
幹事	晶文社	島田 孝久	101-0021	千代田区外神田2-1-12	3255-4501	3255-4506
幹事	誠信書房	濱地 正憲	112-0012	文京区大塚3-20-6	3946-5666	3945-8880
	創元社	重光 義彦	162-0801	新宿区山吹町334-11	3269-1051	5229-7139
	草思社	浴野 英生	150-0001	渋谷区神宮前4-26-26	3470-6565	3470-2640
代表幹事	筑摩書房	菊池 明郎	111-8755	台東区蔵前2-5-3	5687-2680	5687-2685
	東京大学出版会	吉田 信夫	113-8654	文京区本郷7-3-1		
				東京大学構内	3811-8814	3812-6958
	日本評論社	後藤 光行	170-8474	豊島区南大塚3-12-4	3987-8621	3987-8590
	福村出版	土屋知可夫	113-0033	文京区本郷2-30-7	3813-3981	3818-2786
	平凡社	藤代 俊久	152-8601	目黒区碑文谷5-16-19	5721-1234	5721-1239
	法政大学出版局	市川 昭夫	102-0073	千代田区九段北3-2-7		
				法政大学一口坂別館内	5214-5540	5214-5542
幹事	みすず書房	福田 晴行	113-0033	文京区本郷5-32-21	3814-0131	3818-6435
	ミネルヴァ書房	杉田 啓三	607-8494	京都市山科区日ノ岡堤谷町1		
				(075) 581-5191	(075) 581-8379	
			101-0054	千代田区神田錦町3-6		
				石澤ビル3F	3296-1615	3296-1620
幹事	未来社	吉田 哲夫	112-0002	文京区小石川3-7-2	3814-5521	3814-8600
	雄山閣出版	正木 宏	102-0071	千代田区富士見2-6-9	3262-3231	3262-6938
	有斐閣	田村 謙二	101-0051	千代田区神田神保町2-17	3265-6811	3262-8035
	吉川弘文館	馬場 正彦	113-0033	文京区本郷7-2-8	3813-9151	3812-3544

販売企画委員会 ◎古川 ○内藤 重光 後藤 对比地

調査・研修委員会 ◎原田 ○吉田(信) 田村 藤代

図書館委員会 ◎島田 ○平石 正木 段塚

弘報委員会 ◎吉田(哲) ○市川 浴野 土屋 杉田 馬場 鎌内

歴史文化ライブラリー

2・3・4月の新刊／四六判／各1700円

- ⑥1 捨聖 一遍……………今井雅晴
- ⑥2 横井小楠―その思想と行動―…三上一夫
- ⑥3 悲運の遣唐僧……………佐伯有清
―口載の数奇な生涯―
- ⑥4 道具と暮らしの江戸時代……………小泉和子
- ⑥5 へ聖徳太子の誕生……………大山誠一
- ⑥6 三角縁神獣鏡の時代……………岡村秀典
- ⑥7 薬と日本人……………山崎幹夫

吉川弘文館

(価格税別)

東京都文京区本郷7-2-8/電03-3813-9151

青木書店

藤田 勇●著
自由・平等と社会主義
▼80年代ヨーロッパ1971年ロシア革命
自由と民主主義に焦点を据えて、社会主義
の思想・運動・社会システムの歴史を考察す
る政治思想史研究の第一部。

安田 尚●著
ブルデュー社会学を読む
▼社会的行為のリアリティと主体性の復権
「ハビトゥス」=象徴暴力=文化資本……
難解にして深遠なP・ブルデューの世界
その基盤、方法、論理、そして今日的意義
を平易に解説。格好の入門書。

東京都千代田区神田神保町1-60:税別
TEL[03]3219-2341 FAX[03]3219-2585

人と自然と四万十川民俗誌

野本寛一著

3800円

利根川の人と技術文化

北野進・是永定美編

3800円

風の文化誌◎人びとの暮らしと風土

市川健夫著

2300円

アメリカ合衆国とは何か◎歴史と現在

高村宏子・飯野正子・桑井輝子編

2800円

雅印のたのしみ◎篆刻の入門から 応用まで

関口研二著

2500円

雄山閣

※価格は税別

東京都千代田区富士見2/電03(3262)3231



有斐閣

東京・神田・神保町2丁目03-3265-6011
http://www.yuifukan.co.jp/

心と行動を読み解く最新のリアレンス!!
心理学辞典
編集||中島義明(安藤清志・子安増生・坂野雄二・
繁樹算男・立花政夫・箱田裕司)
●事項||四〇二項目●人名||三四七項目
A5判上製精入・一〇九頁六八〇〇円

感覚・知覚、学習、認知、感情、行動、発達、パーソナ
リティ等の基礎的知見から、教育・社会・臨床などの
応用分野まで、現代心理学の全領域にわたる概念・理
論・方法・技法・人名を網羅し詳解した最新の辞典。
学習、研究、教育・医療・福祉等の実践に必備の一冊。

おとぎ話を殺したのは誰？
おとぎ話が神話になるとき

J.ザイプス/吉田、阿部 訳
グلمやデイズニーは、おとぎ話をどう変えたのか。誰もが知っている物語を「物語の力」とその意味から問い直す刺激的な論考。図版多数。◆2600円

「ベランダ」で行こう！
ボタニカル・ライフ

いとうせいこう
植物を育てるのは、新しい自分と出会うこと。十分な庭や時間のない都会で植物と暮らすベランダの生活を描く、笑えて泣けるエッセイ ◆1800円

モラルなき現代人のバイブル
ささやかながら、徳について

A.コント＝スポンヴィル/中村他 訳
フランス哲学の旗手が贈る、礼儀正しさ、誠実さ、勇気、正義、そして愛。人生に欠くことのできない18の徳を取りあげた、世界各国のベストセラー。◆3800円

紀伊國屋書店

出版部：東京都世田谷区桜丘5-38-1
TEL03(3439)0128(営業) 表示価格は税別

「アンネの日記」とならぶナチ時代についての証言
私は証言する

ナチ時代の日記「1933-1945年
ヴァイクトール・クレレンペラー

解説 石田勇治/訳 宮崎登・小川フンケ里美
「最後の最後まで——という決意のもとに、過酷なナチス支配下のドレスデンで、文字どおり生命の危険を賭して日々書きつづられた稀有な記録。ミュンヘン・シヨル兄妹賞を受賞したドイツでの大ベストセラーの翻訳

大月書店 東京都文京区本郷2-11-9
電話03(3813)4651(代表)

勁草書房

D.パーフィット/森村 進 訳
理由と人格 非人格性の倫理へ
人格の同一性、合理性、道徳性をめぐる現代倫理学の挑戦。9500円

P.グライス/清塚邦彦 訳
論理と会話
言語分析とコミュニケーション理論を架橋する巨人の仕事。4700円

渡辺二郎 ▶2版3刷
ハイテッガーの実存思想
『存在と時間』を頂点とする前期哲学を究明し、再構成する。12,000円

東京都文京区後楽2-23-15 ◆価格税別
Tel 03-3814-6861/Fax 03-3814-6854
http://www.keisoshobo.co.jp

草莽の経済思想

江戶時代における市場「道・権利」
小室正紀著
A5・三〇〇頁・七二〇〇円

知性の正しい導き方

田中丘爾、大内正敏、長島耐信など上層農民の中にあった欧米思想への志向性こそが近代への一出发点であったことを実証。
ジョン・ロズ著/下川潔 訳 四六二頁 三〇〇〇円
人間知性論の続編に相当する本書は、知性の補助手段としての論理学を構想し西洋近代の批判的知性のあり方を説く。好評著

アダム・スミスの倫理学(上)(下)

田中正司著
「道徳感情論」と「国富論」
A5・各三三〇頁・各二八〇〇円
「道徳感情論」初版から第六版、「国富論」初版から第三版改訂に至るまでの各部毎の詳細な読解と文脈比較分析。

御茶の水書房 価格は税別

東京都文京区本郷5-30-20 電話03(5684)0751

草思社

学校崩壊

河上亮一 (川越市立名細中学校教諭)

なぜ学校は崩壊の危機を迎えたのか？
33年間生徒と格闘してきた教師による衝
撃的な報告。今日の状態に立ち至った原因
を示し、再生への道を探る。●1500円

サイエンス・マスターズ[全22巻] 第6回配本

①脳が心を生みだすとき

S・グリーンフィールド/新井康允訳 ●1800円

②セックスはなぜ楽しいか

J・ダイヤモンド/長谷川寿一訳 ●1600円

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-26-26
☎03(3470)6565 価格は税別です

森浩一

僕は考古学に 鍛えられた

近代考古学の黎明期に重なる自らの
青春を回想しながら、発掘で学んだ
こと、学問への姿勢を綴る。1800円

大沼保昭

人権、国家、文明

普遍主義的人権観から文際的人権観へ

地球規模の正統性を持ちうる人権観
とは何か？ 21世紀を見通した研究
総括。人権問題の基本図書。3800円

筑摩書房

サービスセンター048-651-0053 *価格税別

戦場のジャンヌ・ダルク
大谷暢順著 短い生を燃焼させて「中世の終り」を印し、新
時代の到来を告げた少女ジャンヌの、「栄光」と「悲運」を分
けた戦跡を歩く。史実の欠落を埋める歴史紀行★一八〇〇円
「主婦の復権」はありうるか。
田中喜美子 鈴木由美子著 男はどんな「主婦」を望んでいる
のか。主婦の現状をリポートしつつ、反論する★一四〇〇円
高杉良短編小説全集 (全3巻)
エリートの反乱 社長、解任さる小説太陽神戸三井銀
行 ★佐高信監修・解説 四六判/各巻 一八〇〇円

社会思想社 東京都文京区本郷3-25
電話03-3813-8101(税別)

「知の再発見」双書

■絵で読む世界文化史■

本の歴史

B.ブラセル著 荒俣宏監修
古代エジプトのパピルスから、中世ヨ
ーロッパの装飾写本、18世紀の百科事
典まで、本作りに情熱を傾けた人びと
の5000年の歴史を示す。1400円(税別)

ラメセス2世

B.ムニュー著 吉村作治監修
紀元前13世紀、強国ヒッタイトと戦い
また次々と巨大建造物を造り、古代エ
ジプト最後の絶頂期をなす「太陽王」
の様々な秘密に迫る。1400円(税別)

創元社 大阪市中央区淡路町4-3-6
東京都新宿区山吹町334-11

鎌田茂雄

A5判/一八〇〇円

中国仏教史 第六巻 隋唐の仏教(下)

唐代仏教の隆盛をその社会・経済的側面から詳述し、当代に形成された諸宗の源流を探る通史は、いよいよ佳境に入る。

鈴木公雄

A5判/五四〇〇円

出土銭貨の研究

金属貨幣の分析を通して、中・近世の銭貨流通の実態を復元。流通史、経済史研究の新たな地平を見通す力作。

東京大学出版会

東京都文京区本郷7-3-1 ☎03-3811-8814
<http://www.utp.or.jp/> <表示は本体価格>

人はなぜ誤るのか

ヒューマン・エラーの光と影

海保博之著 失敗こそ人間らしさの証しであり、逆にその「誤り」を積極的に活用して、いきいきと生きていくための糧にしてしまおうという人間学の書。 四六判・定価一八九〇円

人間の発達と社会

教育社会学講義

住田正樹・高島秀樹・藤井美保著 子どもの社会化に焦点をあて、逸脱行動・教育問題なども社会化のゆがみとしてとらえ、その要因を幅広く考察する。 A5判・定価二五二〇円

福村出版

東京・文京 本郷2-30-7 電話(03) 3813-3981
定価は5%税込 <http://www.fukumura.co.jp/>

悩みを抱えられない

少年たち

生島 浩/著

法務省法務総合研究所室長研究官 矯正機関の援助システム、そして悩みを抱えられない「親」の問題にも迫る。

四六判

1600円

強迫性障害

久保木富房

不安抑うつ臨床研究会/編

不潔恐怖、確認強迫、摂食障害、買い物依存症……。症状も多彩なこの病気を、具体的治療例を中心に解説。

四六判 1500円

豊島区南大塚 3-12-4 電話3987-8621〔価税別〕

壺谷雄高のことを27人はこう語った

奇抜の人



木村俊介

立花隆氏 絶賛!

〈東京大学教養学部立花ゼミ生、21歳〉
●本体価格2,000円(税別)

こりや奇抜なおじいさんだぞ！ 哲学者、作家、音楽家、近所の人たちが青年に語ってくれた、「孤高の文学者」のあまりにも独特な生き方。

平凡社 〒152-8601 東京都目黒区碑文谷5-16-19 振替00180-0-29639 ☎03-5721-1234